

平成25年度
板橋区区民意識意向調査
報告書概要版

平成26年1月
板 橋 区

目 次

I 調査概要	
1 調査の目的	1
2 調査の実施方法	1
3 回収結果	1
4 調査項目	1
II 調査結果（郵送調査）	
1 回答者の属性	2
2 区での住み心地・定住意向	3
3 施策に対する満足度・重要度	8
(1) 施策の満足度	9
(2) 愛着を感じる理由・(3) 誇れると感じる理由	17
(4) 重点的に力を入れるべき分野	20
4 行政サービスと住民負担のバランス	21
5 板橋区職員に期待する能力・資質	23
6 板橋区の公共施設のあり方	24
7 町会・自治会、NPO団体への加入状況等	28

I 調査概要

1 調査の目的

区政全般に対し、区民の意識や意向、区の施策に対する満足度等を捉え、現基本計画の成果指標である区民満足度の平成25年度時点における数値を捕捉するとともに、平成28年度を初年度とする新たな基本計画を策定するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の実施方法

- (1) 調査対象者 20歳以上の板橋区民3,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳から層化二段無作為抽出
(5地域ごとの登録人口規模で3,000人を按分抽出)

【地域区分】

地域名	対象地域
① 板橋地域	板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見地域センター管内
② 常盤台地域	大谷口・常盤台・桜川地域センター管内
③ 志村地域	清水・志村坂上・中台・前野地域センター管内
④ 赤塚地域	下赤塚・成増・徳丸地域センター管内
⑤ 高島平地域	蓮根・舟渡・高島平地域センター管内



- (3) 調査方法 郵送法（郵送配布-郵送回収）
- (4) 調査期間 平成25年9月21日（土）～10月7日（月）

3 回収結果

有効回収数 1,354（有効回収率：45.1%） ※前回（平成23年11月）調査 有効回収率 42.6%

4 調査項目

- (1) 区での住み心地・定住意向
- (2) 施策に対する満足度・重要度
- (3) 行政サービスと住民負担のバランス
- (4) 板橋区職員に期待する能力・資質
- (5) 板橋区の公共施設のあり方
- (6) 町会・自治会・NPO団体への加入状況等

II 調査結果（郵送調査）

1 回答者の属性

（1）性別（問1-ア）

	基数	構成比
男性	534	39.4%
女性	793	58.6
（無回答）	27	2.0

（2）年代（問1-イ）

	基数	構成比
20歳代	115	8.5%
30歳代	200	14.8
40歳代	261	19.3
50歳代	211	15.6
60歳代	251	18.5
70歳以上	299	22.1
（無回答）	17	1.3

（3）居住地域（問1-ウ）

	基数	構成比
板橋地域	330	24.4%
常盤台地域	191	14.1
志村地域	291	21.5
赤塚地域	260	19.2
高島平地域	253	18.7
わからない	11	0.8
（無回答）	18	1.3

（4）職業（問1-エ）

	基数	構成比
会社員・公務員	442	32.6%
自営業・自由業	104	7.7
会社役員	28	2.1
主婦・主夫	287	21.2
学生	27	2.0
アルバイト・パート	175	12.9
無職	254	18.8
その他	26	1.9
（無回答）	11	0.8

（5）世帯構成（問1-オ）

	基数	構成比
単身世帯	278	20.5%
夫婦のみ	337	24.9
二世帯同居（子と同居）	471	34.8
二世帯同居（親と同居）	179	13.2
三世帯同居	50	3.7
その他	24	1.8
（無回答）	15	1.1

（6）居住年数（問1-カ）

	基数	構成比
1年未満	39	2.9%
1年以上5年未満	138	10.2
5年以上10年未満	127	9.4
10年以上20年未満	227	16.8
20年以上	614	45.3
生まれたときから	198	14.6
（無回答）	11	0.8

（7）直前の居住地（問1-キ）

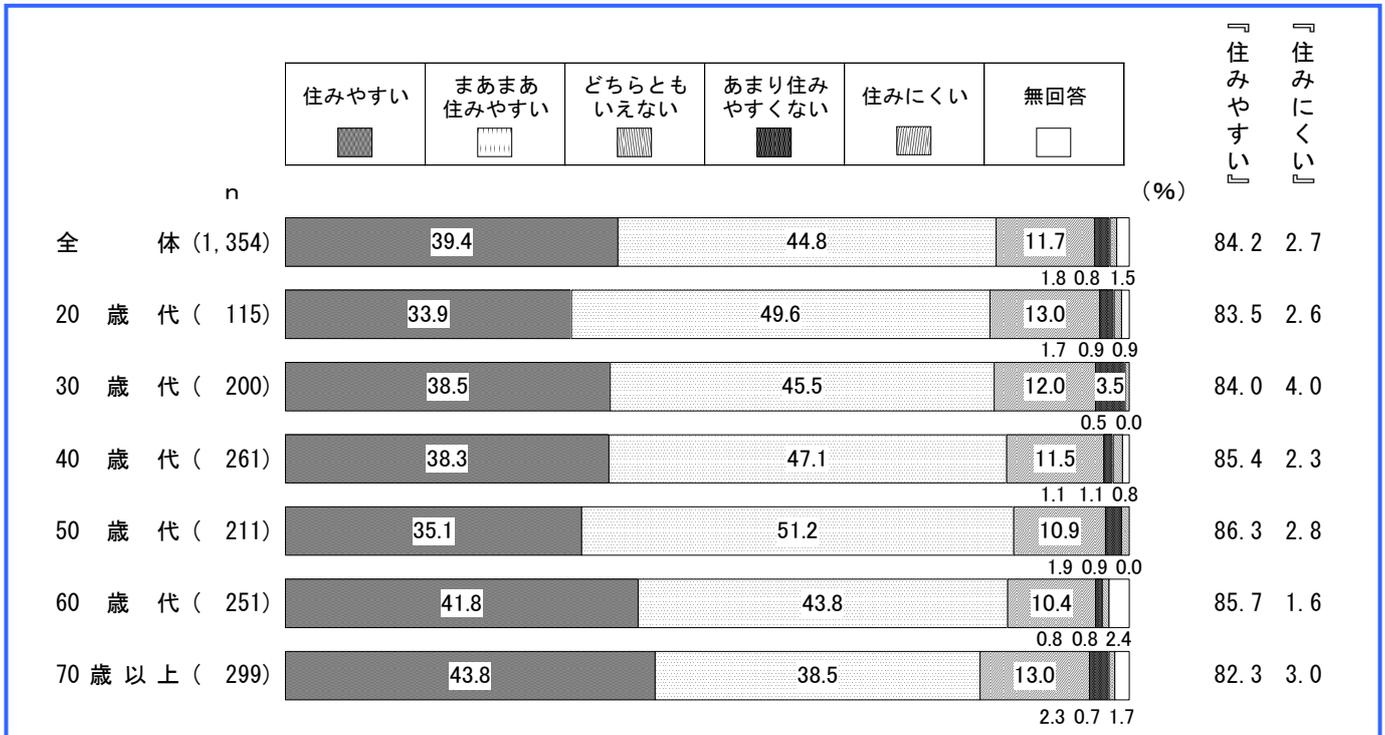
	基数	構成比
東京23区内（板橋区を除く）	525	45.9%
東京都内の他市町村内	84	7.3
埼玉県内	168	14.7
千葉県・神奈川県内	95	8.3
その他（海外を含む）	201	17.6
（無回答）	72	6.3

2 区での住み心地・定住意向

(1) 住みやすさ (問2)

「まあまあ住みやすい」(44.8%)が4割半ばと最も高く、これに「住みやすい」(39.4%)を合わせた『住みやすい』(84.2%)が8割半ばとなっています。一方、「あまり住みやすくない」(1.8%)と「住みにくい」(0.8%)を合わせた『住みにくい』(2.7%)はわずかとなっています。

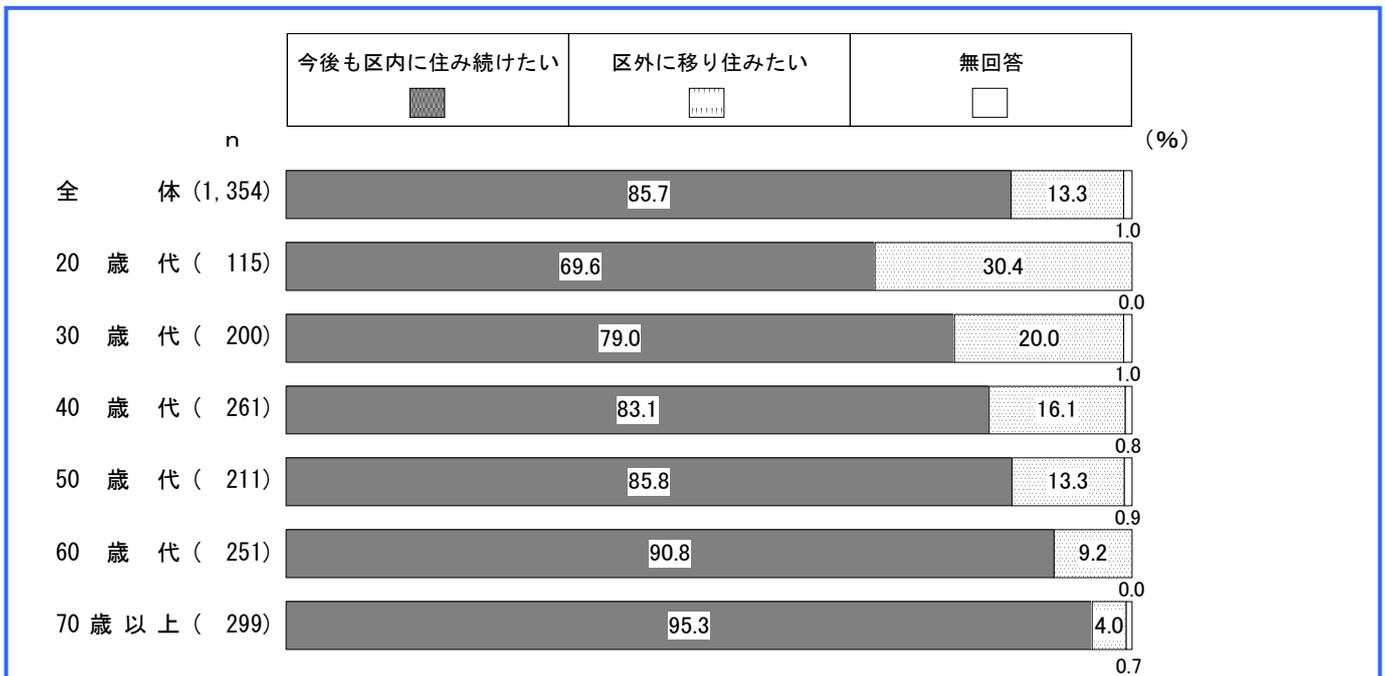
年代別でみると、「住みやすい」は60歳代(41.8%)と70歳以上(43.8%)で4割を超えて高くなっています。また、『住みやすい』はすべての年代で8割台となっています。



(2) 定住意向 (問3)

「今後も区内に住み続けたい」(85.7%)が8割半ば、「区外に移り住みたい」(13.3%)は1割を超える程度となっています。

年代別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は年齢が高くなるほど割合が高く、70歳以上(95.3%)で9割半ばとなっています。

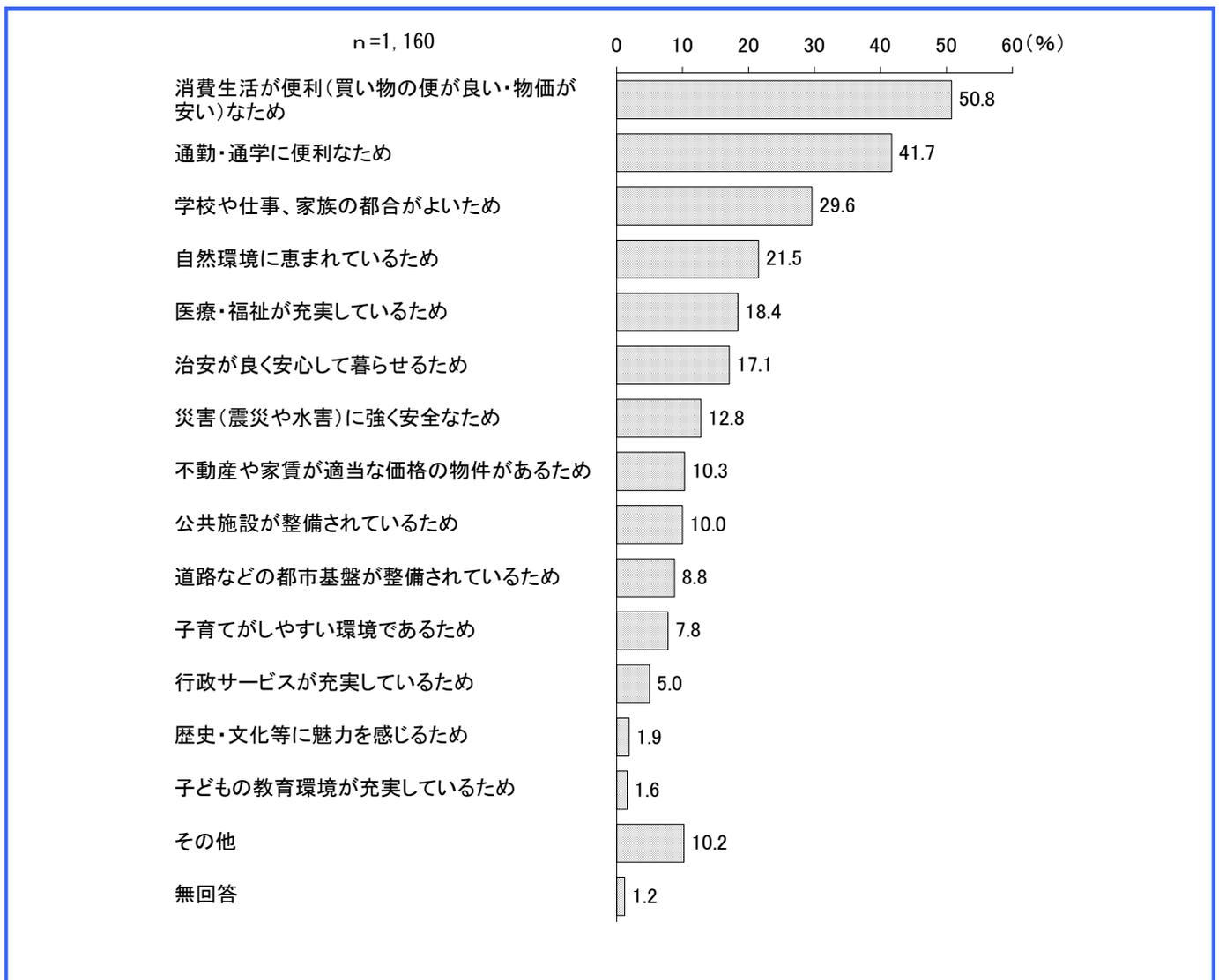


(3) 区内に住み続けたい理由（問3-1）

「区内に住み続けたい」と答えた人（1,160人）に、その理由を3つまで聞いたところ「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」（50.8%）が約5割と最も高く、次いで「通勤・通学に便利のため」（41.7%）、「学校や仕事、家族の都合がよいため」（29.6%）などとなっています。

なお、その他の理由として「自宅を購入したため」「住み慣れているため」「区内に住む人々の人柄がよいため」などがありました。

○全体



○年代別

	全 体	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 代
n	1160	80	158	217	181	228	285
消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため	50.8	45.0	41.8	41.5	45.9	57.9	62.5
通勤・通学に便利のため	41.7	65.0	56.3	61.8	51.9	29.8	15.1
学校や仕事、家族の都合がよいため	29.6	41.3	44.3	44.2	33.7	23.7	9.1
自然環境に恵まれているため	21.5	11.3	14.6	16.1	16.6	31.1	27.7
医療・福祉が充実しているため	18.4	3.8	11.4	8.8	16.6	21.5	32.6
治安が良く安心して暮らせるため	17.1	25.0	10.8	7.8	13.8	22.4	23.2
災害（震災や水害）に強く安全なため	12.8	3.8	8.2	7.8	9.9	16.7	20.7
不動産や家賃が適当な価格の物件があるため	10.3	17.5	17.1	15.7	12.2	3.9	4.9
公共施設が整備されているため	10.0	8.8	4.4	3.7	10.5	17.5	11.9
道路などの都市基盤が整備されているため	8.8	1.3	5.7	4.6	8.3	11.4	13.3
子育てがしやすい環境であるため	7.8	2.5	21.5	15.2	5.0	2.6	2.1
行政サービスが充実しているため	5.0	2.5	3.2	2.3	3.3	7.0	8.4
歴史・文化等に魅力を感じるため	1.9	1.3	-	1.8	2.8	1.8	2.8
子どもの教育環境が充実しているため	1.6	1.3	3.2	4.6	1.7	-	-
その他	10.2	6.3	13.3	6.5	14.4	9.2	9.8

各回答のうち全体の平均を10ポイント以上上回っているのは、20歳代から50歳代までの「通勤・通学に便利のため」と、20歳代から40歳代までの「学校や仕事、家族の都合がよいため」となっています。

このほか、30歳代で「子育てがしやすい環境であるため」（21.5%）、70歳代では「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」（62.5%）、「医療・福祉が充実しているため」（32.6%）が該当します。

○世帯構成別

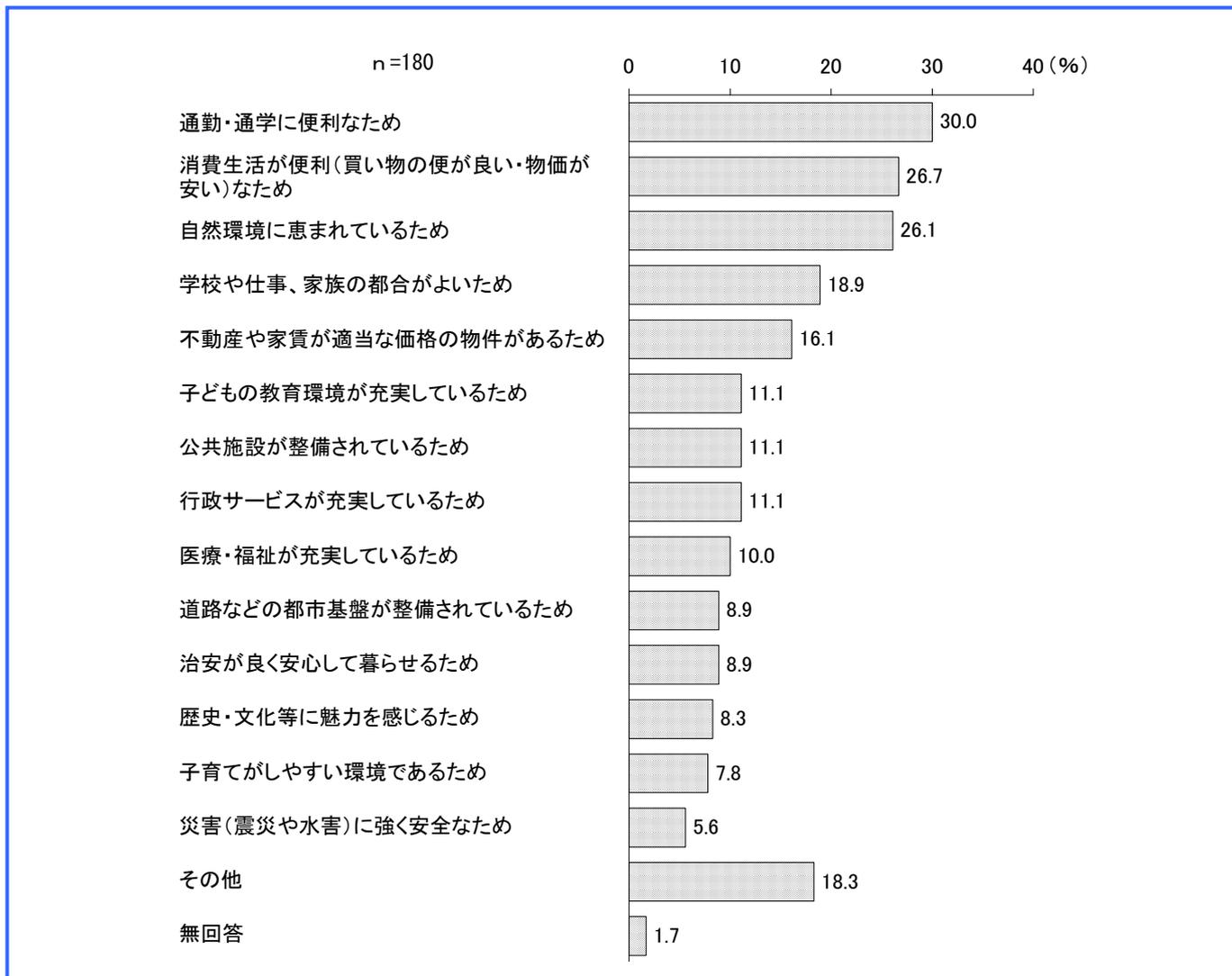
	全 体	単 身 世 帯	夫 婦 の み	（一 子 と 二 世 代 同 居	（二 親 と 二 世 代 同 居	三 世 代 同 居	そ の 他
n	1160	232	296	414	146	44	22
消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため	50.8	53.4	58.1	47.1	40.4	52.3	59.1
通勤・通学に便利のため	41.7	43.5	33.8	43.2	55.5	36.4	31.8
学校や仕事、家族の都合がよいため	29.6	17.7	22.0	37.9	39.0	38.6	22.7
自然環境に恵まれているため	21.5	19.4	27.0	22.0	12.3	25.0	18.2
医療・福祉が充実しているため	18.4	17.7	25.3	14.7	11.6	20.5	31.8
治安が良く安心して暮らせるため	17.1	20.3	16.9	14.3	21.2	13.6	18.2
災害（震災や水害）に強く安全なため	12.8	9.5	17.6	11.4	9.6	15.9	22.7
不動産や家賃が適当な価格の物件があるため	10.3	18.5	7.4	8.7	9.6	9.1	4.5
公共施設が整備されているため	10.0	8.6	11.5	9.4	8.9	11.4	13.6
道路などの都市基盤が整備されているため	8.8	9.5	10.5	7.2	9.6	4.5	4.5
子育てがしやすい環境であるため	7.8	2.6	2.4	15.7	5.5	9.1	4.5
行政サービスが充実しているため	5.0	4.7	8.1	3.9	2.7	2.3	9.1
歴史・文化等に魅力を感じるため	1.9	1.7	2.0	1.7	2.7	2.3	-
子どもの教育環境が充実しているため	1.6	-	-	4.1	0.7	2.3	-
その他	10.2	12.5	6.1	11.6	8.9	9.1	22.7

各回答のうち全体の平均を10ポイント以上上回っているのは、二世帯同居（親と同居）では「通勤・通学に便利のため」（55.5%）と、その他では「医療・福祉が充実しているため」（31.8%）が該当します。

(4) 区外に移り住みたい理由 (問3-2)

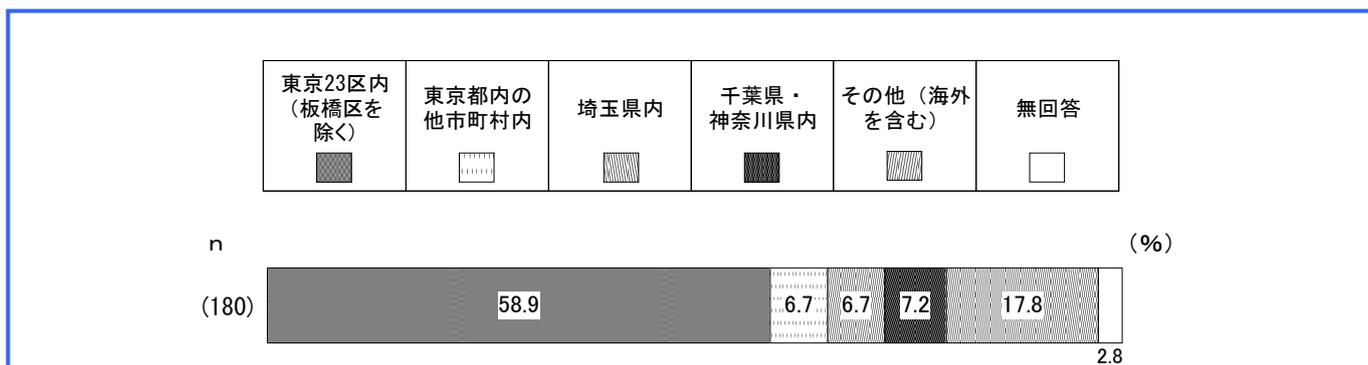
「区外に移り住みたい」と答えた人(180人)に、その理由を3つまで聞いたところ、区外の方が「通勤・通学に便利のため」(30.0%)が3割と最も高くなっています。次いで「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)のため」(26.7%)、「自然環境に恵まれているため」(26.1%)などとなっています。

なお、その他の理由として「実家に戻るため」「親から独立するため」などがありました。



(5) 区外に移り住むとしたら住みたい地域 (問3-3)

「区外に移り住みたい」と答えた人(180人)に、区外に移り住むとしたら住みたい地域を聞いたところ、「東京23区内(板橋区を除く)」(58.9%)が6割近くと最も高くなっています。「千葉県・神奈川県内」(7.2%)、「東京都内の他市町村内」と「埼玉県内」(ともに6.7%)はいずれも1割未満となっています。



(6) 区外に移り住みたい理由(問3-2)と住みたい地域(問3-3)

区外に移り住みたいと考えている人の理由として最も多いのが、「通勤・通学に便利のため」(30.0%)、次いで「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)のため」(26.7%)となっています。

地域別では、東京23区内(板橋区を除く)に移り住みたいと考えている人の理由として最も多いのが「通勤・通学に便利のため」(42.5%)、東京都内の他市町村内では「自然環境に恵まれているため」(50.0%)、埼玉県内では「自然環境に恵まれているため」「不動産や家賃が適当な価格の物件があるため」(それぞれ41.7%)、千葉県・神奈川県内も「自然環境に恵まれているため」「不動産や家賃が適当な価格の物件があるため」(それぞれ38.7%)となっており、その他(海外を含む。)では「自然環境に恵まれているため(62.5%)となっています。

	全 体	(東 京 2 3 区 内 を 除 く) 板 橋 区	他 市 町 村 内 の	埼 玉 県 内	千 葉 県 ・ 神 奈 川 県 内	(海 外 を 含 む) そ の 他
n	180	106	12	12	13	32
通勤・通学に便利のため	30.0	42.5	16.7	8.3	23.1	9.4
消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)のため	26.7	32.1	8.3	25.0	30.8	18.8
自然環境に恵まれているため	26.1	8.5	50.0	41.7	38.5	62.5
学校や仕事、家族の都合がよいため	18.9	19.8	8.3	16.7	30.8	18.8
不動産や家賃が適当な価格の物件があるため	16.1	10.4	25.0	41.7	38.5	15.6
子どもの教育環境が充実しているため	11.1	17.0	-	8.3	7.7	-
公共施設が整備されているため	11.1	12.3	8.3	16.7	7.7	9.4
行政サービスが充実しているため	11.1	16.0	-	8.3	-	6.3
医療・福祉が充実しているため	10.0	11.3	8.3	-	7.7	6.3
道路などの都市基盤が整備されているため	8.9	10.4	16.7	16.7	-	3.1
治安が良く安心して暮らせるため	8.9	9.4	-	16.7	-	9.4
歴史・文化等に魅力を感じるため	8.3	8.5	8.3	-	7.7	9.4
子育てがしやすい環境であるため	7.8	10.4	-	8.3	15.4	-
災害(震災や水害)に強く安全なため	5.6	3.8	16.7	-	7.7	9.4
その他	18.3	15.1	16.7	16.7	15.4	31.3

3 施策に対する満足度・重要度

質問項目の省略名は以下のとおりです。

	調査票に表記した質問項目	省略名
1	子育てしやすい環境が整っている	子育て環境
2	子どものための福祉サービスが整っている	児童福祉サービス
3	健康で人間性豊かな子どもが育っている	子どもの健全育成
4	休日・夜間も含め、安心して医療が受けられる	医療体制
5	家庭・学校・地域が協力して子育てをしている	地域連携による子育て
6	健康づくりに取り組みやすい	健康づくり
7	生涯学習に取り組みやすい	生涯学習
8	スポーツに取り組みやすい	スポーツ
9	住居の広さが十分である	住居の広さ
10	高齢者のための福祉サービスが整っている	高齢者福祉サービス
11	障がい者のための福祉サービスが整っている	障がい者福祉サービス
12	高齢者が仕事や地域活動に参加できる	高齢者の社会参加
13	障がい者が仕事や地域活動に参加できる	障がい者の社会参加
14	家事・育児・介護を男女が協力して行っている	家事・育児・介護の男女協力
15	男女が平等に社会活動に参画することができる	男女平等の社会参画
16	働きやすい環境が整っている	労働環境
17	消費生活のトラブルが少ない	消費生活
18	地域社会活動が活発で参加しやすい	地域社会活動
19	地域のボランティア活動(町会・自治会活動を含む)に気軽に参加できる	ボランティア・NPO活動
20	魅力のある商店街が身近にある	魅力ある商店街
21	地域の工業に活力がある	活力ある工業
22	都市農地が保全され、地産地消が促進されている	農地の保全・活用
23	社会ニーズに合った新しいビジネスが生まれている	新産業創出
24	多くの人が集まる名所・旧跡やイベントがある	名所・旧跡、イベント
25	伝統芸能が受け継がれている	伝統芸能
26	歴史的文化財が保存・活用されている	歴史的文化財
27	文化芸術に親しみやすい	文化芸術
28	外国の人々との交流が活発に行われている	国際交流

	調査票に表記した質問項目	省略名
29	平和の大切さを身近に感じられる	平和意識
30	防災意識が高い	防災意識
31	治安が保たれている	防犯対策
32	災害・犯罪・感染症等様々な危機に対応できる体制となっている	危機管理体制
33	衛生上の不安なく食品が入手できる	食品衛生
34	自転車利用のマナーが守られている	自転車利用のマナー
35	地震の時、火災の延焼や建物倒壊等の不安が少ない	震災に強いまち
36	大雨が降っても水害の不安が少ない	水害対策
37	緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている	自然地の保全
38	憩える公園や緑地が整備されている	公園・緑地の整備
39	空気や水がきれいので安心して生活できる	空気・水
40	まちなみや景観が美しい	まちなみ・景観
41	省エネルギーの取り組みが進んでいる	省エネルギー
42	ごみ出しのルール(分別・曜日・場所等)が守られている	ごみ出しルール
43	リサイクルが進んでいる	リサイクル
44	身近なまちが快適で魅力のある生活空間である	快適なまち
45	電車やバスが便利に利用できる	公共交通
46	身近な道路に補修等の必要がなく安全である	道路の安全
47	身近な道路を安全に歩行できる	歩行の安全
48	バリアフリーのまちづくりが進められている	バリアフリー
49	インターネットを通じて必要な区政情報の提供が行われている	IT活用
50	区が保有する個人情報を守られている	個人情報の保護
51	区政に関する情報が公開されている	区政情報の公開
52	まちづくりや区の計画づくりへの参画機会が充実している	区計画への参加機会
53	区政に区民の声反映されている	区民の声の区政への反映
54	区の職員の対応が良い	区職員の対応
55	板橋区に愛着を感じる	区への愛着
56	板橋区が他の自治体に比べて誇れると感じる	区への誇り

(1) 施策の満足度 (問4)

①各施策項目の満足度

56の施策項目の満足度について聞いたところ、「満足」と「まあ満足」を合計した値が高い順に並べると以下のとおりです。

最も割合の高い施策項目は、「公共交通」(75.6%)で7割半ばとなっています。次いで「ごみ出しルール」(67.6%)、「食品衛生」(65.3%)、「公園・緑地の整備」(56.1%)などとなっています。

順位	施策項目	満足度 (%)
1	公共交通	75.6
2	ごみ出しルール	67.6
3	食品衛生	65.3
4	公園・緑地の整備	56.1
5	自然地の保全	55.2
6	区への愛着	52.1
7	防犯対策	51.8
8	水害対策	49.3
9	歩行の安全	48.6
10	道路の安全	47.1
11	リサイクル	45.9
12	医療体制	45.8
13	住居の広さ	39.8
14	魅力ある商店街	38.6
	空気・水	38.6
16	消費生活	38.5
17	防災意識	38.3
18	健康づくり	35.8
19	区職員の対応	35.7
20	子育て環境	34.9
21	スポーツ	33.7
22	快適なまち	33.6
23	歴史的文化財	32.9
24	区政情報の公開	29.5
25	平和意識	29.2
26	高齢者福祉サービス	29.1
27	名所・旧跡、イベント	28.7
28	児童福祉サービス	27.8
29	地域連携による子育て	26.6

順位	施策項目	満足度 (%)
30	I T活用	25.8
31	子どもの健全育成	25.6
32	区への誇り	24.7
33	まちなみ・景観	24.4
34	文化芸術	23.8
35	伝統芸能	22.4
36	個人情報の保護	20.4
37	危機管理体制	20.0
38	生涯学習	19.5
39	ボランティア・NPO活動	19.1
40	地域社会活動	18.8
41	男女平等の社会参画	18.5
42	震災に強いまち	18.4
43	障がい者福祉サービス	18.2
	労働環境	18.2
45	高齢者の社会参加	18.1
46	バリアフリー	16.6
47	自転車利用のマナー	13.7
48	家事・育児・介護の男女協力	13.0
49	区計画への参加機会	11.0
50	省エネルギー	9.5
	区民の声の区政への反映	9.5
52	活力ある工業	9.2
53	障がい者の社会参加	8.4
54	農地の保全・活用	7.5
55	国際交流	4.9
56	新産業創出	3.4

施策の満足度《全56施策項目》

		満足	まあ満足	どちらでもない いえない	やや不満	不満	わからない	無回答		
暮らしすまじ のびやかに生きがいをもって	基本目標Ⅰ	(1) 子育て環境	4.2	30.7	17.1	5.3	2.2	34.9	5.6	
		(2) 児童福祉サービス	3.4	24.4	21.1	5.8	2.0	38.6	4.6	
		(3) 子どもの健全育成	3.3	22.2	27.5	6.5	1.7	33.6	5.1	
		(4) 医療体制	8.6	37.1	22.7	8.9	4.0	15.0	3.5	
		(5) 地域連携による子育て	3.8	22.8	25.6	5.9	2.4	35.3	4.1	
		(6) 健康づくり	4.0	31.8	31.5	6.6	2.2	19.8	4.1	
		(7) 生涯学習	2.3	17.2	36.2	6.1	2.9	31.0	4.3	
		(8) スポーツ	3.8	29.8	30.0	7.8	2.8	21.5	4.3	
		(9) 住居の広さ	8.4	31.4	23.9	18.5	8.8	5.8	3.2	
		(10) 高齢者福祉サービス	4.3	24.8	24.4	7.5	3.1	32.5	3.3	
		(11) 障がい者福祉サービス	3.3	14.9	23.3	5.9	3.4	45.6	3.5	
		(12) 高齢者の社会参加	2.5	15.6	26.0	6.8	2.7	42.9	3.5	
		(13) 障がい者の社会参加	1.2	7.2	23.8	6.3	2.7	54.2	4.7	
		(14) 家事・育児・介護の男女協力	1.5	11.5	30.0	8.9	3.2	40.4	4.5	
		(15) 男女平等の社会参画	1.6	16.8	30.1	6.1	2.8	38.4	4.2	
	活力のあるまち 「こころ豊かなふれあいと	基本目標Ⅱ	(16) 労働環境	1.6	16.6	32.1	8.9	4.9	31.5	4.3
			(17) 消費生活	5.4	33.1	26.7	4.2	1.0	26.4	3.1
		(18) 地域社会活動	2.7	16.1	33.5	7.8	4.5	31.2	4.1	
		(19) ボランティア・NPO活動	2.5	16.5	30.4	9.7	6.5	30.9	3.5	
		(20) 魅力ある商店街	8.4	30.2	21.1	18.2	15.5	4.2	2.4	
		(21) 活力ある工業	1.4	7.8	27.7	11.8	6.6	40.8	3.9	
		(22) 農地の保全・活用	0.7	6.7	23.8	13.3	9.2	42.5	3.7	
		(23) 新産業創出	0.4	3.0	22.5	11.8	8.5	50.1	3.6	
		(24) 名所・旧跡、イベント	2.9	25.8	25.6	11.9	7.5	23.1	3.3	
		(25) 伝統芸能	3.1	19.3	20.6	4.6	2.8	45.6	4.1	
		(26) 歴史的文化財	4.8	28.1	21.0	4.6	2.5	34.7	4.3	
		(27) 文化芸術	3.3	20.5	28.1	7.5	4.6	32.0	4.1	
		(28) 国際交流	0.9	4.0	26.5	9.2	6.2	49.3	4.0	
		(29) 平和意識	4.7	24.6	30.4	5.8	4.4	26.7	3.5	
うるおいのあるまち 安全で安心な	基本目標Ⅲ	(30) 防災意識	5.2	33.1	32.8	7.8	4.0	13.4	3.7	
		(31) 防犯対策	7.0	44.8	23.3	10.5	4.7	6.3	3.4	
		(32) 危機管理体制	2.6	17.4	31.2	9.7	3.6	31.7	3.8	
		(33) 食品衛生	12.2	53.1	21.0	2.8	1.4	6.3	3.2	
		(34) 自転車利用のマナー	1.2	12.5	25.3	28.0	25.2	4.7	3.2	
		(35) 震災に強いまち	3.2	15.2	30.7	19.2	13.5	14.8	3.3	
		(36) 水害対策	12.4	36.9	22.3	13.4	5.9	6.2	2.8	
		(37) 自然地の保全	10.9	44.3	22.1	11.0	3.8	4.4	3.5	
		(38) 公園・緑地の整備	12.3	43.8	21.3	11.7	4.5	3.0	3.4	
		(39) 空気・水	6.7	31.9	33.5	14.3	6.6	3.9	3.1	
		(40) まちなみ・景観	2.8	21.6	41.5	17.6	8.2	4.9	3.4	
		(41) 省エネルギー	1.3	8.2	36.9	11.3	4.8	33.8	3.8	
		(42) ごみ出しルール	17.8	49.8	14.5	9.3	3.8	2.5	2.3	
		(43) リサイクル	8.4	37.4	26.1	6.3	1.6	17.0	3.2	
		(44) 快適なまち	4.1	29.5	39.8	10.7	3.0	9.0	3.8	
		(45) 公共交通	27.0	48.6	10.6	7.0	2.7	1.8	2.3	
		(46) 道路の安全	9.5	37.6	27.5	11.4	4.8	5.7	3.5	
		(47) 歩行の安全	10.2	38.4	24.0	15.5	6.8	1.9	3.2	
		(48) バリアフリー	1.9	14.7	33.7	15.9	7.8	22.5	3.6	
		(49) IT活用	3.5	22.3	24.2	4.9	2.0	39.5	3.7	
		(50) 個人情報の保護	3.3	17.1	23.9	2.2	1.5	48.4	3.5	
		(51) 区政情報の公開	3.3	26.2	25.8	3.7	1.6	36.0	3.4	
計画推進 のために		(52) 区計画への参加機会	1.0	10.0	29.6	5.5	3.2	47.0	3.7	
		(53) 区民の声の区政への反映	0.9	8.6	28.6	8.9	6.4	42.9	3.7	
		(54) 区職員の対応	4.8	30.9	29.5	9.1	5.9	16.8	3.0	
		(55) 区への愛着	13.2	38.8	32.5	2.7	1.8	7.3	3.5	
		(56) 区への誇り	4.9	19.7	44.2	5.3	3.8	17.2	4.8	

②加重平均値でみる満足度

区民の各施策項目に対する満足度にスコア（得点）を与え、平均化することによって、全体の回答傾向における各施策項目の満足・不満足の評価と、その度合いを把握します。

加重平均値の算出方法

「満足」に“+2”、「まあ満足」に“+1”、「どちらでもない」に“0”、「やや不満」に“-1”、「不満」に“-2”を与え、加重平均値を算出しました。

$$\text{加重平均値} = \frac{(\text{満足という回答者数} \times \text{“+2”}) + (\text{まあ満足という回答者数} \times \text{“+1”}) + (\text{どちらでもないという回答者数} \times \text{“0”}) + (\text{やや不満という回答者数} \times \text{“-1”}) + (\text{不満という回答者数} \times \text{“-2”})}{(\text{回答者数} - (\text{わからないという回答者数} + \text{無回答者数}))}$$

したがって、“0”を基準に数値が大きいくほど満足度が高く、数値が小さいほど不満度が高いことが示されます。最大値は“2”で、これは全回答が「満足」であったことを示し、最小値は“-2”で、これは全回答が「不満」であったことを示します。

全体の加重平均値をみると、56施策項目のうち『満足』（加重平均値が0より大きい）と評価されたものは41項目、『不満』（加重平均値が0より小さい）と評価されたものは14項目となっています。また、残り1項目は加重平均値が0となっています。

加重平均値による施策の満足度《スコア順》

順位	施策項目	加重平均	順位	施策項目	加重平均
1	公共交通	0.94	30	区への誇り	0.21
2	食品衛生	0.79	31	空気・水	0.19
3	ごみ出しルール	0.72	32	障がい者福祉サービス	0.17
4	区への愛着	0.66	33	高齢者の社会参加	0.16
5	リサイクル	0.56		文化芸術	0.16
6	消費生活	0.53	35	生涯学習	0.15
7	自然地の保全	0.52		男女平等の社会参画	0.15
8	公園・緑地の整備	0.51	37	住居の広さ	0.13
9	子育て環境	0.49	38	危機管理体制	0.09
10	医療体制	0.46	39	地域社会活動	0.07
	歴史的文化財	0.46	40	名所・旧跡、イベント	0.06
12	防犯対策	0.43	41	労働環境	0.02
	区政情報の公開	0.43	42	区計画への参加機会	0.00
14	水害対策	0.40	43	家事・育児・介護の男女協力	-0.01
15	道路の安全	0.39	44	ボランティア・NPO活動	-0.02
	個人情報保護	0.39		魅力ある商店街	-0.02
17	児童福祉サービス	0.38	46	障がい者の社会参加	-0.05
	健康づくり	0.38	47	まちなみ・景観	-0.07
19	IT活用	0.36	48	省エネルギー	-0.16
20	防災意識	0.34	49	バリアフリー	-0.17
21	スポーツ	0.33	50	区民の声の区政への反映	-0.21
22	地域連携による子育て	0.32	51	活力ある工業	-0.26
23	子どもの健全育成	0.31	52	震災に強いまち	-0.30
	高齢者福祉サービス	0.31	53	国際交流	-0.34
	歩行の安全	0.31	54	農地の保全・活用	-0.44
26	伝統芸能	0.30	55	新産業創出	-0.54
27	平和意識	0.28	56	自転車利用のマナー	-0.69
28	快適なまち	0.24			
	区職員の対応	0.24			

③前回調査（平成23年度）との比較

（ア）満足度（「満足」と「まあ満足」を合計した値）の比較

満足度の上位5項目をみると、順位に変動はあるものの、4項目が前回調査と同一項目になっており、「公共交通」、「ごみ出しルール」は引き続き上位2位となっています。

満足度の下位5項目をみると、「新産業創出」、「国際交流」は前回調査に引き続き1位、2位となっています。

【満足度の高い施策項目（上位5項目）】

順位	平成25年度	(%)	順位	平成23年度	(%)
1	公共交通	75.6	1	公共交通	74.4
2	ごみ出しルール	67.6	2	ごみ出しルール	69.1
3	食品衛生	65.3	3	区への愛着	61.2
4	公園・緑地の整備	56.1	4	食品衛生	60.2
5	自然地の保全	55.2	5	公園・緑地の整備	53.7

【満足度の低い施策項目（下位5項目）】

順位	平成25年度	(%)	順位	平成23年度	(%)
1	新産業創出	3.4	1	新産業創出	4.1
2	国際交流	4.9	2	国際交流	6.2
3	農地の保全・活用	7.5	3	ボランティア・NPO活動	6.7
4	障がい者の社会参加	8.4	4	自転車利用のマナー	8.8
5	活力ある工業	9.2	5	障がい者の社会参加	10.2

前回調査と比較して特に満足度が上がった施策項目は、「ボランティア・NPO活動」（12.4ポイント増）で10ポイント以上上昇しています。一方、満足度が最も下がった施策項目は、「区への愛着」で9.1ポイント低下しています。

【満足度が上がった施策項目（上位5項目）】

順位	施策項目	前回からの変化	平成25年度	平成23年度
1	ボランティア・NPO活動	12.4ポイント	19.1%	6.7%
2	医療体制	8.5ポイント	45.8%	37.3%
3	消費生活	7.6ポイント	38.5%	30.9%
4	歩行の安全	7.0ポイント	48.6%	41.6%
5	スポーツ	6.8ポイント	33.7%	26.9%

【満足度が下がった施策項目（下位5項目）】

順位	施策項目	前回からの変化	平成25年度	平成23年度
1	区への愛着	-9.1ポイント	52.1%	61.2%
2	家事・育児・介護の男女協力	-7.9ポイント	13.0%	20.9%
3	IT活用	-6.1ポイント	25.8%	31.9%
4	魅力ある商店街	-5.5ポイント	38.6%	44.1%
5	区への誇り	-5.3ポイント	24.7%	30.0%

(イ) 加重平均値による満足度の比較

加重平均値が高い施策項目について上位5項目をみると、順位に変動はあるものの、5項目すべて同一の項目となっており、「公共交通」は引き続き1位となっています。

加重平均値が低い施策項目について下位5項目をみると、順位に変動はあるものの、同率を含め5項目すべて同一の項目となっており、「自転車利用のマナー」は改善がみられるものの、引き続き1位となっています。

【満足度の高い施策項目（上位5項目）】

順位	平成25年度	加重平均	順位	平成23年度	加重平均
1	公共交通	0.94	1	公共交通	0.91
2	食品衛生	0.79	2	区への愛着	0.82
3	ごみ出しのルール	0.72	3	ごみ出しのルール	0.73
4	区への愛着	0.66	4	食品衛生	0.70
5	リサイクル	0.56	5	リサイクル	0.57

【満足度の低い施策項目（下位5項目）】

順位	平成25年度	加重平均	順位	平成23年度	加重平均
1	自転車利用のマナー	-0.69	1	自転車利用のマナー	-0.90
2	新産業創出	-0.54	2	震災に強いまち	-0.45
3	農地の保全・活用	-0.44	3	新産業創出	-0.30
4	国際交流	-0.34	4	国際交流	-0.26
5	震災に強いまち	-0.30	5	農地の保全・活用 バリアフリー	-0.23

前回調査と比較して、最も加重平均値が上がった施策項目は、「医療体制」で0.28ポイント上昇しています。一方、加重平均値が下がった施策項目は、「新産業創出」（0.24ポイント低下）、「農地の保全・活用」（0.21ポイント低下）などとなっています。

【満足度が上がった施策項目（上位5項目）】

順位	施策項目	前回からの変化	平成25年度	平成23年度
1	医療体制	0.28ポイント	0.46	0.18
2	自転車利用のマナー	0.21ポイント	-0.69	-0.90
3	水害対策	0.19ポイント	0.40	0.21
4	歩行の安全	0.17ポイント	0.31	0.14
5	労働環境	0.16ポイント	0.02	-0.14
	道路の安全	0.16ポイント	0.39	0.23

【満足度が下がった施策項目（下位5項目）】

順位	施策項目	前回からの変化	平成25年度	平成23年度
1	新産業創出	-0.24ポイント	-0.54	-0.30
2	農地の保全・活用	-0.21ポイント	-0.44	0.23
3	名所・旧跡、イベント	-0.17ポイント	0.06	0.23
4	区への愛着	-0.16ポイント	0.66	0.82
5	家事・育児・介護の男女協力	-0.12ポイント	-0.01	0.11

④相対満足度と改善度からみた行政ニーズ

56の施策項目が前回の調査からどれだけ改善されているかを評価し、今回の満足度調査の結果と照らし合わせることで、区民の行政ニーズを整理します。

満足と不満足との開き具合を示す相対満足度と改善度との算出方法は以下のとおりです。

相対満足度と改善度の算出方法

- ※ 相対満足度：（「満足」＋「まあ満足」）と（「不満」＋「やや不満」）との差
- ※ 改善度：平成25年度と平成23年度との満足度の加重平均値の差

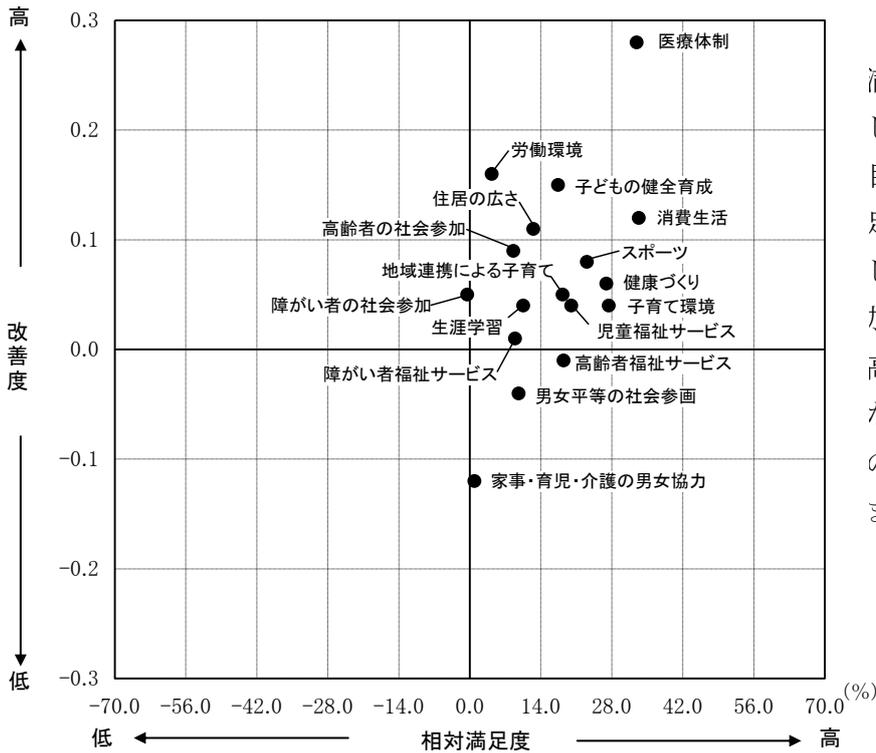
この算出方法に基づく結果は下表のとおりです。また、基本目標ごとの相対満足度と改善度の散布図は次頁以降のとおりです。

項目	相対満足度			改善度			項目	相対満足度			改善度		
	相対満足度	（満 計 ） 足	（不 計 ） 満	改善度	2 5 年 度	2 3 年 度		相対満足度	（満 計 ） 足	（不 計 ） 満	改善度	2 5 年 度	2 3 年 度
子育て環境	27.40	34.90	7.50	0.04	0.49	0.45	防災意識	26.60	38.30	11.70	-0.05	0.34	0.39
児童福祉サービス	20.00	27.80	7.80	0.04	0.38	0.34	防犯対策	36.60	51.80	15.20	0.06	0.43	0.37
子どもの健全育成	17.40	25.60	8.20	0.15	0.31	0.16	危機管理体制	6.70	20.00	13.30	0.02	0.09	0.07
医療体制	32.90	45.80	12.90	0.28	0.46	0.18	食品衛生	61.10	65.30	4.20	0.09	0.79	0.70
地域連携による子育て	18.30	26.60	8.30	0.05	0.32	0.27	自転車利用のマナー	-39.50	13.70	53.20	0.21	-0.69	-0.90
健康づくり	26.90	35.80	8.90	0.06	0.38	0.32	震災に強いまち	-14.30	18.40	32.70	0.15	-0.30	-0.45
生涯学習	10.50	19.50	9.00	0.04	0.15	0.11	水害対策	29.90	49.30	19.40	0.19	0.40	0.21
スポーツ	23.10	33.70	10.60	0.08	0.33	0.25	自然地の保全	40.40	55.20	14.80	0.15	0.52	0.37
住居の広さ	12.50	39.80	27.30	0.11	0.13	0.02	公園・緑地の整備	39.90	56.10	16.20	0.09	0.51	0.42
高齢者福祉サービス	18.50	29.10	10.60	-0.01	0.31	0.32	空気・水	17.70	38.60	20.90	0.05	0.19	0.14
障がい者福祉サービス	8.90	18.20	9.30	0.01	0.17	0.16	まちなみ・景観	-1.40	24.40	25.80	0.06	-0.07	-0.13
高齢者の社会参加	8.60	18.10	9.50	0.09	0.16	0.07	省エネルギー	-6.60	9.50	16.10	-0.05	-0.16	-0.11
障がい者の社会参加	-0.50	8.40	8.90	0.05	-0.05	-0.10	ごみ出しルール	54.50	67.60	13.10	-0.01	0.72	0.73
家事・育児・介護の男女協力	0.90	13.00	12.10	-0.12	-0.01	0.11	リサイクル	38.10	45.90	7.80	-0.01	0.56	0.57
男女平等の社会参画	9.60	18.50	8.90	-0.04	0.15	0.19	快適なまち	19.90	33.60	13.70	0.12	0.24	0.12
労働環境	4.30	18.20	13.90	0.16	0.02	-0.14	公共交通	65.90	75.60	9.70	0.03	0.94	0.91
消費生活	33.30	38.50	5.20	0.12	0.53	0.41	道路の安全	30.90	47.10	16.20	0.16	0.39	0.23
地域社会活動	6.50	18.80	12.30	0.11	0.07	-0.04	歩行の安全	26.30	48.60	22.30	0.17	0.31	0.14
ボランティア・NPO活動	2.90	19.10	16.20	0.07	-0.02	-0.09	バリアフリー	-7.00	16.60	23.60	0.06	-0.17	-0.23
魅力ある商店街	4.90	38.60	33.70	-0.08	-0.02	0.06	IT活用	18.90	25.80	6.90	0.03	0.36	0.33
活力ある工業	-9.20	9.20	18.40	-0.06	-0.26	-0.20	個人情報の保護	16.70	20.40	3.70	-0.04	0.39	0.43
農地の保全・活用	-15.00	7.50	22.50	-0.21	-0.44	-0.23	区政情報の公開	24.20	29.50	5.30	0.03	0.43	0.40
新産業創出	-16.90	3.40	20.30	-0.24	-0.54	-0.30	区計画への参加機会	2.30	11.00	8.70	0.03	0.00	-0.03
名所・旧跡、イベント	9.30	28.70	19.40	-0.17	0.06	0.23	区民の声の区政への反映	-5.80	9.50	15.30	-0.01	-0.21	-0.20
伝統芸能	15.00	22.40	7.40	0.09	0.30	0.21	区職員の対応	20.70	35.70	15.00	0.00	0.24	0.24
歴史的文化財	25.80	32.90	7.10	0.11	0.46	0.35	区への愛着	47.50	52.10	4.60	-0.16	0.66	0.82
文化芸術	11.70	23.80	12.10	0.09	0.16	0.07	区への誇り	15.50	24.70	9.20	-0.06	0.21	0.27
国際交流	-10.50	4.90	15.40	-0.08	-0.34	-0.26							
平和意識	19.00	29.20	10.20	-0.08	0.28	0.36							

■は相対満足度・改善度のそれぞれ上位5項目

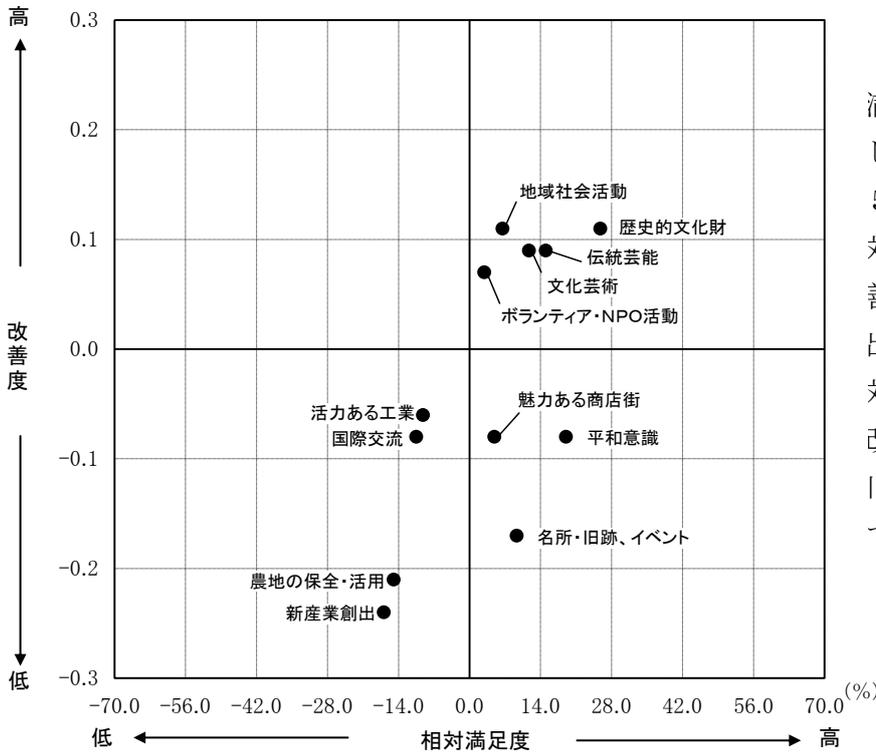
□は相対満足度・改善度のそれぞれ下位5項目

●「基本目標Ⅰ のびやかに生きがいをもって暮らすまち」の相対満足度と改善度



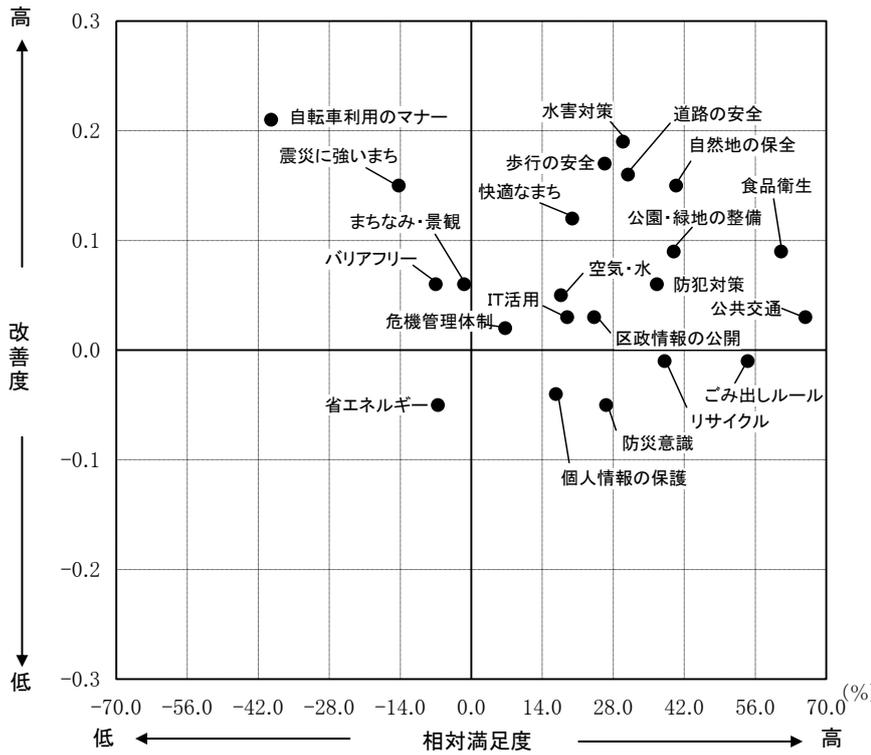
17 施策項目のうち、図右上「相対満足度は高く、平成 23 年度より改善した項目」に「医療体制」など 13 項目が入っています。図左上「相対満足度は低いが、平成 23 年度より改善した項目」には「障がい者の社会参加」が入り、図右下「相対満足度は高いが、平成 23 年度より改善していない項目」には「家事・育児・介護の男女協力」など 3 項目が入っています。

●「基本目標Ⅱ ころ豊かなふれあいと活力のあるまち」の相対満足度と改善度



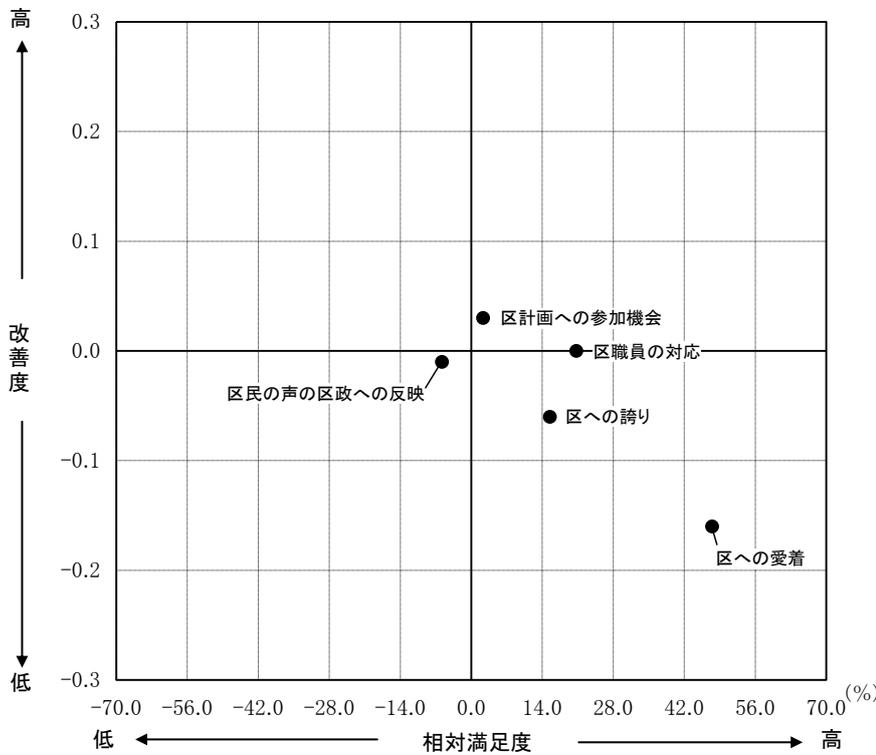
12 施策項目のうち、図右上「相対満足度は高く、平成 23 年度より改善した項目」に「歴史的文化財」など 5 項目が入っています。図左下「相対満足度は低く、平成 23 年度より改善していない項目」には「新産業創出」など 4 項目が入り、図右下「相対満足度は高いが、平成 23 年度より改善していない項目」には「名所・旧跡、イベント」など 3 項目が入っています。

●「基本目標Ⅲ 安全で安心なうるおいのあるまち」の相対満足度と改善度



22施策項目のうち、図右上「相対満足度は高く、平成23年度より改善した項目」に「水害対策」など13項目が入っています。図左上「相対満足度は低いが、平成23年度より改善した項目」には「自転車利用のマナー」など4項目が入り、図右下「相対満足度は高いが、平成23年度より改善していない項目」には「防災意識」など4項目が入っています。また、図左下「相対満足度は低く、平成23年度より改善していない項目」には「省エネルギー」が入っています。

●「計画推進のために」の相対満足度と改善度

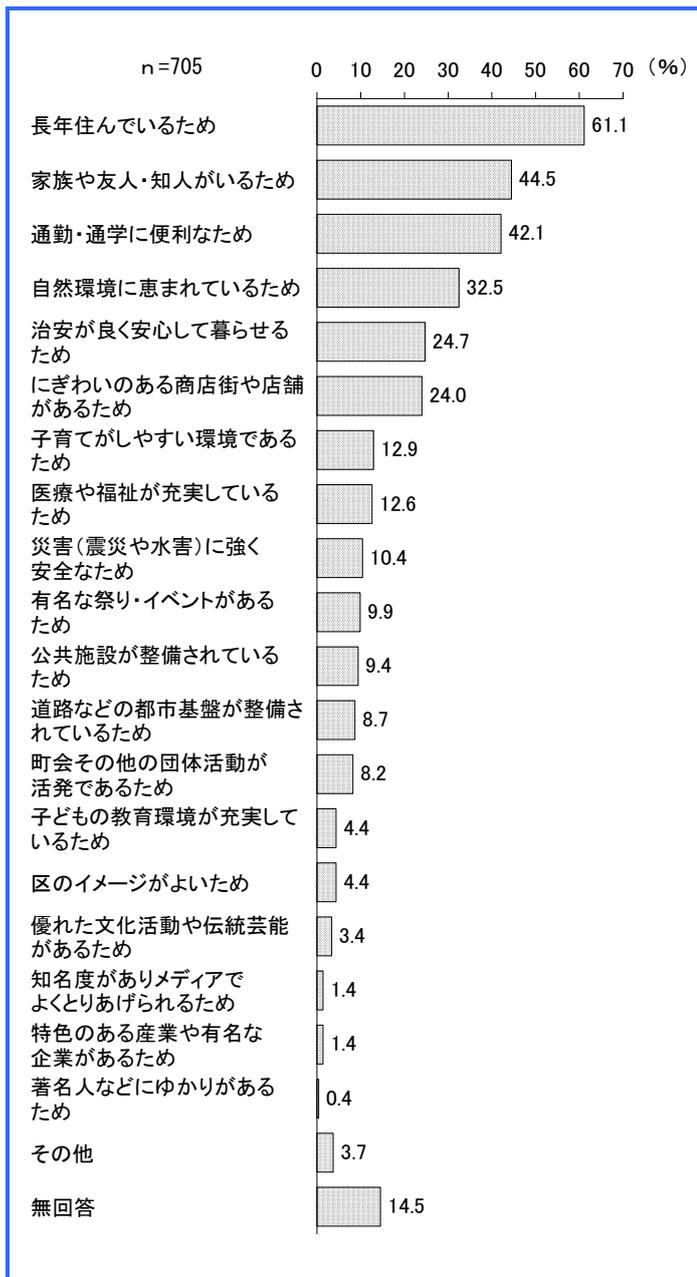


5施策項目のうち、図右上「相対満足度は高く、平成23年度より改善した項目」に「区計画への参加機会」が入り、図左下「相対満足度は低く、平成23年度より改善していない項目」には「区民の声の区政への反映」が入っています。また、図右下「相対満足度は高いが、平成23年度より改善していない項目」には「区への誇り」「区への愛着」の2項目が入っています。

問4で「板橋区に愛着を感じる」「板橋区が他の自治体と比べて誇れると感じる」と回答した人に、その理由を5つまで聞いたところ、以下の結果となりました。

(2) 板橋区に愛着を感じる理由 (問4-1)

「長年住んでいるため」(61.1%)が6割を超えて最も高く、次いで「家族や友人・知人がいるため」(44.5%)、「通勤・通学に便利のため」(42.1%)などとなっています。



(3) 板橋区が他の自治体と比べて誇れると感じる理由 (問4-2)

「医療や福祉が充実しているため」(34.4%)が3割半ばと最も高く、次いで「自然環境に恵まれているため」(30.5%)、「治安が良く安心して暮らせるため」(30.2%)などとなっています。



板橋区に愛着を感じる理由

○年代別

各回答のうち全体平均を10ポイント以上上回っているのは、20歳代では「長年住んでいるため」(74.0%)、「家族や友人・知人がいるため」(64.0%)、40歳代では「通勤・通学に便利のため」(55.2%)、「子育てがしやすい環境であるため」(23.1%)が、50歳代では「長年住んでいるため」(72.8%)となっています。

	全 体	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 以 上
n	705	50	105	134	103	149	156
長年住んでいるため	61.1	74.0	56.2	58.2	72.8	65.1	51.3
家族や友人・知人がいるため	44.5	64.0	52.4	46.3	48.5	40.9	34.0
通勤・通学に便利のため	42.1	48.0	47.6	55.2	50.5	40.3	21.8
自然環境に恵まれているため	32.5	34.0	24.8	35.1	41.7	30.9	30.8
治安が良く安心して暮らせるため	24.7	24.0	16.2	23.1	27.2	31.5	23.1
にぎわいのある商店街や店舗があるため	24.0	24.0	28.6	27.6	26.2	22.1	17.9
子育てがしやすい環境であるため	12.9	6.0	19.0	23.1	10.7	12.8	3.8
医療や福祉が充実しているため	12.6	6.0	6.7	9.0	17.5	17.4	14.1
災害(震災や水害)に強く安全なため	10.4	12.0	6.7	6.0	12.6	10.1	14.7
有名な祭り・イベントがあるため	9.9	10.0	12.4	13.4	12.6	7.4	5.8
公共施設が整備されているため	9.4	6.0	6.7	6.7	8.7	12.8	10.9
道路などの都市基盤が整備されているため	8.7	10.0	6.7	4.5	11.7	9.4	10.3
町会その他の団体活動が活発であるため	8.2	2.0	3.8	6.0	7.8	16.1	8.3
子どもの教育環境が充実しているため	4.4	4.0	4.8	6.7	5.8	4.7	1.3
区のイメージがよいため	4.4	2.0	5.7	2.2	2.9	5.4	6.4
優れた文化活動や伝統芸能があるため	3.4	-	1.9	2.2	3.9	5.4	4.5
知名度がありメディアでよくとりあげられるため	1.4	2.0	1.0	1.5	2.9	1.3	0.6
特色のある産業や有名な企業があるため	1.4	2.0	1.9	0.7	1.9	0.7	1.9
著名人などにゆかりがあるため	0.4	4.0	-	0.7	-	-	-
その他	3.7	6.0	5.7	4.5	2.9	2.0	3.2

○世帯構成別

各回答のうち全体平均を10ポイント以上上回っているのは、二世帯同居(子と同居)では「子育てがしやすい環境であるため」(24.3%)、二世帯同居(親と同居)では「長年住んでいるため」(82.4%)、三世帯同居では「家族や友人・知人がいるため」(60.0%)などとなっています。

	全 体	単 身 世 帯	夫 婦 の み	(子 と 同 居) 二 世 帯 同 居	(親 と 同 居) 二 世 帯 同 居	三 世 帯 同 居	そ の 他
n	705	151	160	243	102	35	9
長年住んでいるため	61.1	57.0	56.9	56.4	82.4	65.7	66.7
家族や友人・知人がいるため	44.5	37.1	36.3	49.0	52.0	60.0	33.3
通勤・通学に便利のため	42.1	41.1	35.0	45.7	51.0	31.4	44.4
自然環境に恵まれているため	32.5	31.1	32.5	34.6	30.4	25.7	33.3
治安が良く安心して暮らせるため	24.7	25.2	21.9	27.2	25.5	22.9	11.1
にぎわいのある商店街や店舗があるため	24.0	31.1	23.1	24.3	17.6	17.1	11.1
子育てがしやすい環境であるため	12.9	4.6	6.3	24.3	6.9	22.9	-
医療や福祉が充実しているため	12.6	14.6	13.1	14.4	3.9	20.0	-
災害(震災や水害)に強く安全なため	10.4	10.6	12.5	8.6	10.8	11.4	-
有名な祭り・イベントがあるため	9.9	9.9	14.4	7.0	9.8	8.6	11.1
公共施設が整備されているため	9.4	9.9	11.9	7.8	6.9	11.4	-
道路などの都市基盤が整備されているため	8.7	4.6	9.4	9.9	8.8	11.4	11.1
町会その他の団体活動が活発であるため	8.2	5.3	13.1	7.0	5.9	11.4	22.2
子どもの教育環境が充実しているため	4.4	2.0	2.5	8.2	2.9	2.9	-
区のイメージがよいため	4.4	4.6	3.8	3.3	7.8	2.9	11.1
優れた文化活動や伝統芸能があるため	3.4	4.6	4.4	3.3	-	2.9	11.1
知名度がありメディアでよくとりあげられるため	1.4	1.3	0.6	1.6	2.0	2.9	-
特色のある産業や有名な企業があるため	1.4	2.0	1.9	0.4	2.9	-	-
著名人などにゆかりがあるため	0.4	-	-	0.4	1.0	2.9	-
その他	3.7	6.0	4.4	2.9	2.0	-	11.1

板橋区が他の自治体に比べて誇れると感じる理由

○年代別

各回答のうち全体平均を10ポイント以上上回っているのは、20歳代では「通勤・通学に便利のため」(73.3%)、30歳代では「子育てがしやすい環境であるため」(26.8%)、50歳代では「医療や福祉が充実しているため」(47.1%)、「にぎわいのある商店街や店舗があるため」(31.4%)、「特色のある産業や有名な企業があるため」(25.5%) となっています。

	全 体	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 以上
n	334	15	41	66	51	73	87
医療や福祉が充実しているため	34.4	20.0	24.4	31.8	47.1	43.8	28.7
自然環境に恵まれているため	30.5	33.3	26.8	30.3	37.3	35.6	24.1
治安が良く安心して暮らせるため	30.2	26.7	24.4	21.2	29.4	39.7	32.2
通勤・通学に便利のため	24.6	73.3	24.4	22.7	23.5	23.3	18.4
公共施設が整備されているため	23.1	6.7	22.0	22.7	23.5	24.7	24.1
にぎわいのある商店街や店舗があるため	20.1	26.7	29.3	13.6	31.4	16.4	14.9
災害(震災や水害)に強く安全なため	19.5	13.3	14.6	15.2	23.5	21.9	21.8
道路などの都市基盤が整備されているため	18.3	13.3	17.1	15.2	25.5	15.1	20.7
有名な祭り・イベントがあるため	14.7	20.0	14.6	16.7	11.8	13.7	14.9
子育てがしやすい環境であるため	13.5	-	26.8	16.7	15.7	13.7	5.7
町会その他の団体活動が活発であるため	12.3	6.7	14.6	10.6	17.6	8.2	13.8
優れた文化活動や伝統芸能があるため	11.7	-	9.8	12.1	9.8	13.7	13.8
特色のある産業や有名な企業があるため	11.7	-	7.3	13.6	25.5	15.1	3.4
区のイメージがよい	8.7	6.7	2.4	7.6	11.8	13.7	6.9
子どもの教育環境が充実しているため	8.4	-	12.2	9.1	7.8	6.8	9.2
長年住んでいるため	7.2	13.3	2.4	10.6	3.9	4.1	9.2
知名度がありメディアでよくとりあげられるため	5.4	6.7	4.9	10.6	7.8	4.1	1.1
家族や友人・知人がいるため	4.5	6.7	2.4	6.1	3.9	1.4	6.9
著名人などにゆかりがあるため	2.7	-	2.4	3.0	2.0	2.7	3.4
その他	4.8	-	7.3	6.1	7.8	4.1	2.3

○世帯構成別

各回答のうち全体平均を10ポイント以上上回っているのは、二世帯同居(子と同居)で「子育てがしやすい環境であるため」(23.5%)、三世帯同居で「医療や福祉が充実しているため」(46.2%)、「にぎわいのある商店街や店舗があるため」(30.8%)、「優れた文化活動や伝統芸能があるため」「特色のある産業や有名な企業があるため」(ともに23.1%) となっています。

	全 体	単 身 世 帯	夫 婦 の み	(二 世 代 同 居 子 と 同 居)	(二 世 代 同 居 親 と 同 居)	三 世 代 同 居	そ の 他
n	334	69	82	115	46	13	5
医療や福祉が充実しているため	34.4	26.1	39.0	39.1	23.9	46.2	20.0
自然環境に恵まれているため	30.5	30.4	29.3	32.2	30.4	38.5	-
治安が良く安心して暮らせるため	30.2	26.1	35.4	28.7	34.8	23.1	20.0
通勤・通学に便利のため	24.6	23.2	24.4	24.3	30.4	30.8	-
公共施設が整備されているため	23.1	20.3	25.6	24.3	23.9	23.1	-
にぎわいのある商店街や店舗があるため	20.1	18.8	24.4	15.7	23.9	30.8	20.0
災害(震災や水害)に強く安全なため	19.5	18.8	18.3	20.9	21.7	15.4	-
道路などの都市基盤が整備されているため	18.3	20.3	14.6	17.4	26.1	23.1	-
有名な祭り・イベントがあるため	14.7	23.2	13.4	13.9	6.5	7.7	20.0
子育てがしやすい環境であるため	13.5	8.7	7.3	23.5	6.5	7.7	-
町会その他の団体活動が活発であるため	12.3	8.7	13.4	14.8	13.0	-	-
優れた文化活動や伝統芸能があるため	11.7	8.7	13.4	13.9	6.5	23.1	-
特色のある産業や有名な企業があるため	11.7	13.0	11.0	10.4	10.9	23.1	-
区のイメージがよい	8.7	8.7	7.3	9.6	10.9	-	20.0
子どもの教育環境が充実しているため	8.4	8.7	7.3	7.0	8.7	15.4	-
長年住んでいるため	7.2	5.8	11.0	5.2	10.9	-	-
知名度がありメディアでよくとりあげられるため	5.4	5.8	3.7	6.1	6.5	7.7	-
家族や友人・知人がいるため	4.5	4.3	6.1	3.5	6.5	-	-
著名人などにゆかりがあるため	2.7	2.9	3.7	1.7	2.2	7.7	-
その他	4.8	5.8	2.4	6.1	-	15.4	20.0

(4) 重点的に力を入れるべき分野（問5）

提示した25の施策分野に対し、今後、区が重点的に力を入れるべき分野を第1位から第5位まで挙げてもらい、それらを累計した『全体』でみると、「高齢者介護」（40.2%）が4割と最も高くなっています。



また、第1位に挙げられた分野を前回調査と比較すると、「子育て」、「高齢者介護」、「防災」が前回調査に引き続き上位3位となっており、割合は前回調査よりそれぞれ上昇しています。

【第1位にあげられた分野（上位5分野）】

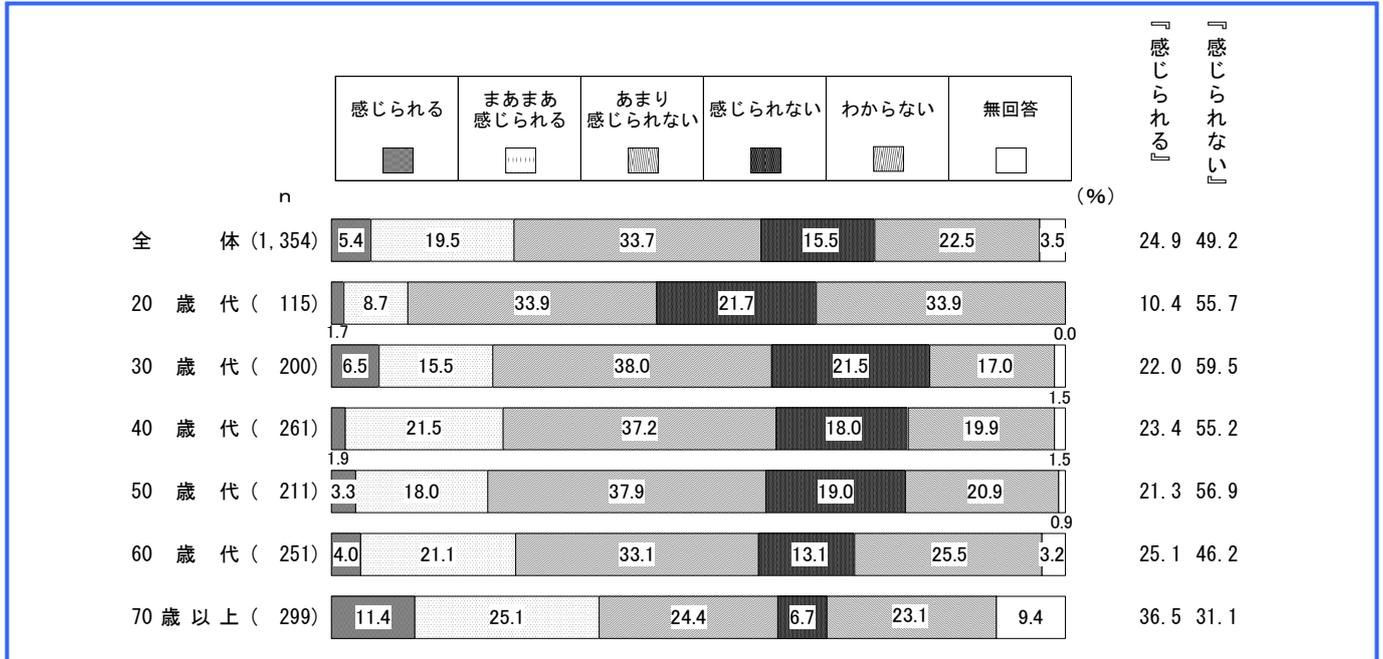
順位	平成25年度	(%)	順位	平成23年度	(%)
1	子育て	19.9	1	子育て	17.8
2	高齢者介護	11.4	2	高齢者介護	8.5
3	防災	8.9	3	防災	7.0
4	学校教育	8.8	4	健康・衛生	6.9
5	防犯	5.2	5	行財政改革	4.7

4 行政サービスと住民負担のバランス

(1) 税金に見合った行政サービスの提供 (問6)

「感じられる」(5.4%)と「まあまあ感じられる」(19.5%)を合わせた『感じられる』(24.9%)が2割半ばとなっています。一方、「あまり感じられない」(33.7%)と「感じられない」(15.5%)を合わせた『感じられない』(49.2%)は約5割となっています。

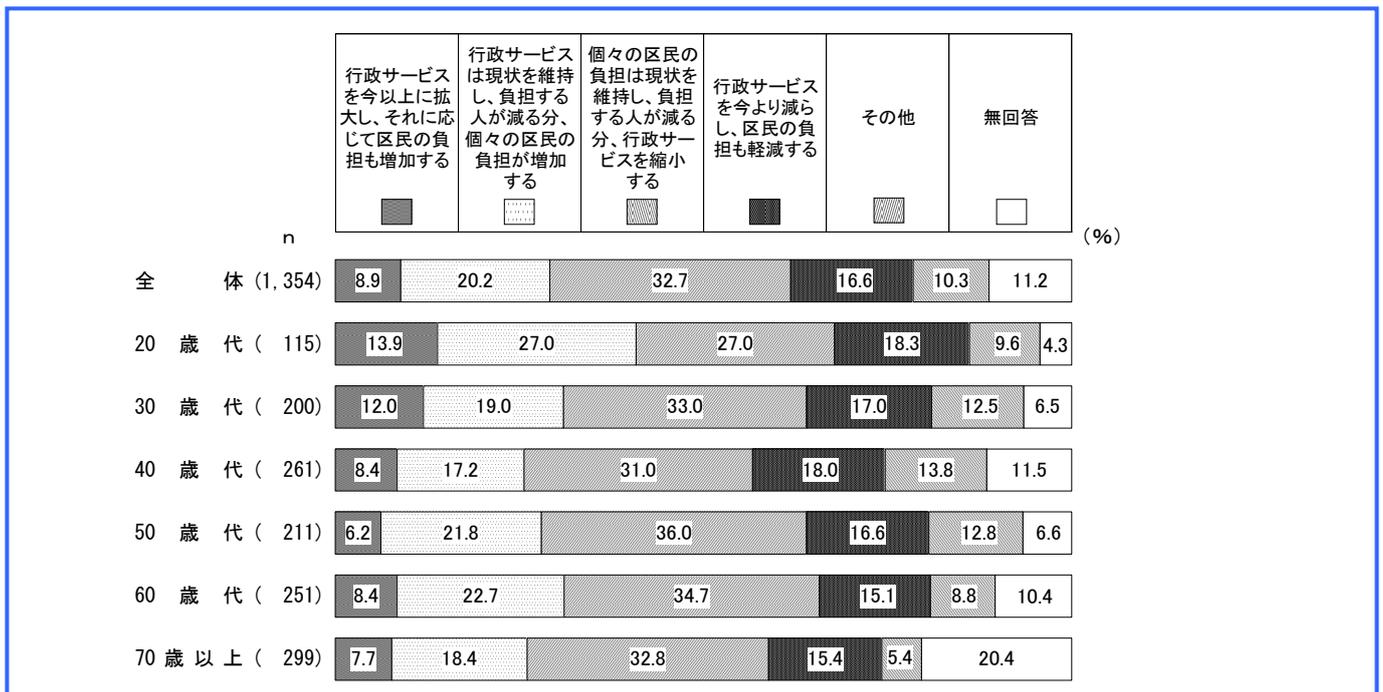
年代別でみると、『感じられる』はおおむね年齢が高くなるほど割合が高く、70歳以上(36.5%)で4割近くとなっています。



(2) 将来的な行政サービスと住民負担のバランス (問7)

「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」(32.7%)が3割を超えて最も高くなっています。また、「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」(20.2%)が2割、「行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する」(16.6%)が2割近く、「行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する」(8.9%)は1割未満となっています。

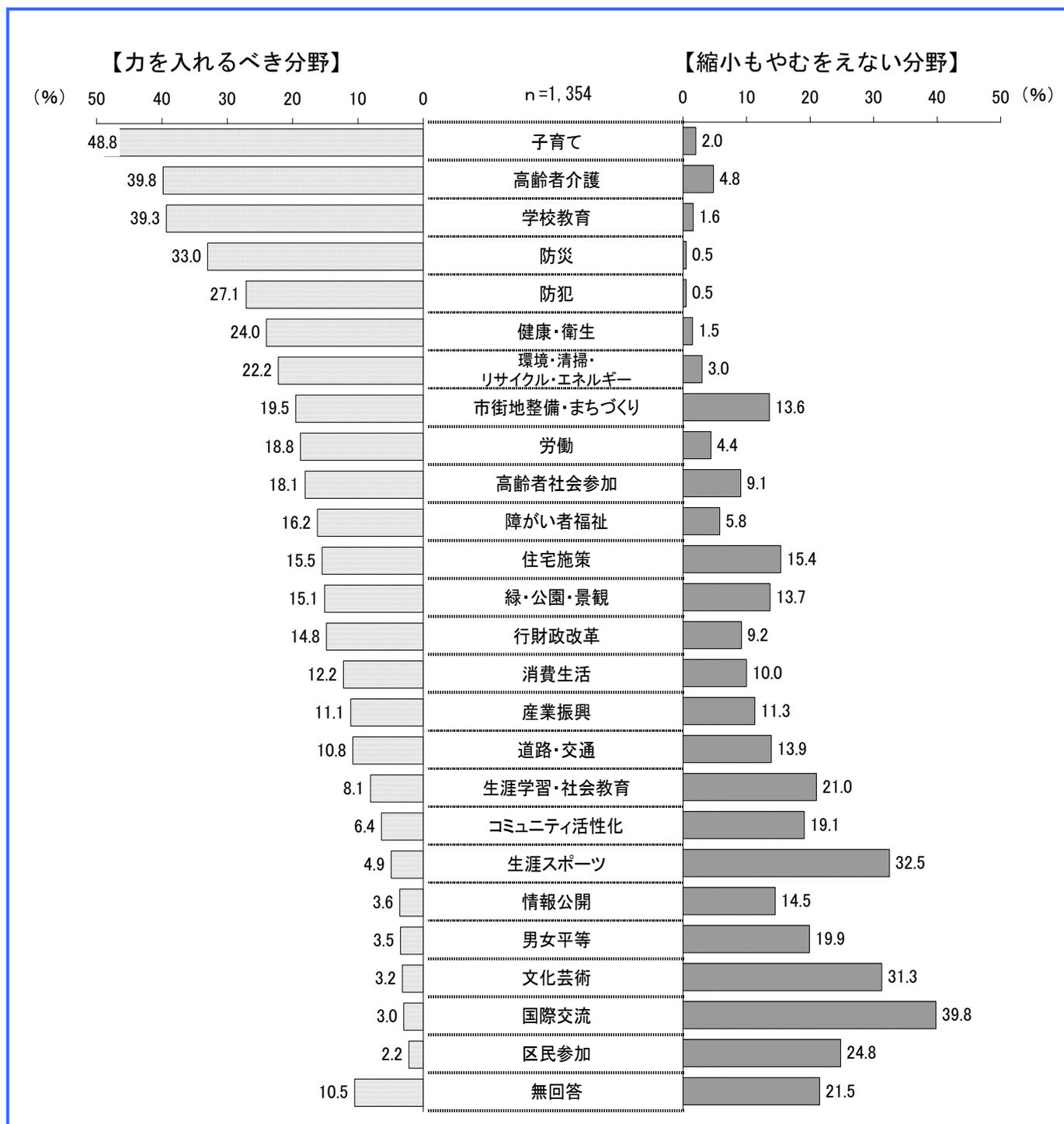
年代別でみると、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」は20歳代(27.0%)を除くすべての年代で3割台となっています。



(3) 行政サービスで力を入れるべき分野と縮小もやむをえない分野（問8）

提示した25の施策分野について、限られた財源の中で行政として「力を入れるべき分野」と「縮小もやむをえない分野」それぞれ5つまで聞いたところ、「力を入れるべき分野」では、「子育て」（48.8%）が5割近くと最も高く、次いで「高齢者介護」（39.8%）、「学校教育」（39.3%）などとなっています。

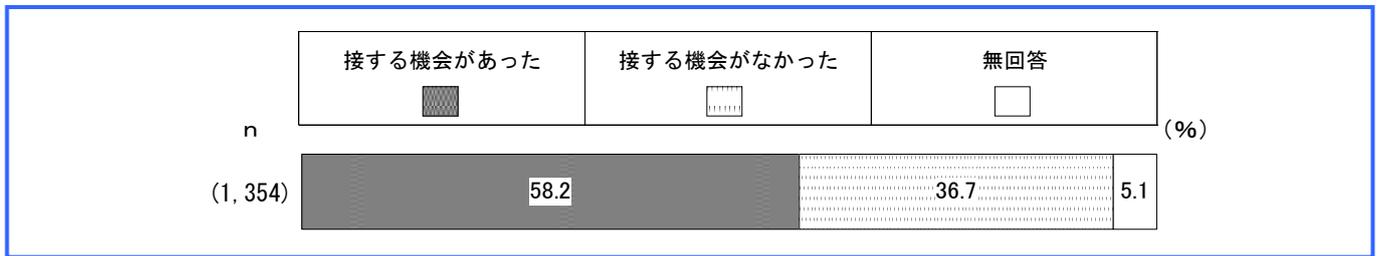
一方、「縮小もやむをえない分野」では、「国際交流」（39.8%）が4割と最も高く、次いで「生涯スポーツ」（32.5%）、「文化芸術」（31.3%）などとなっています。



5 板橋区職員に期待する能力・資質

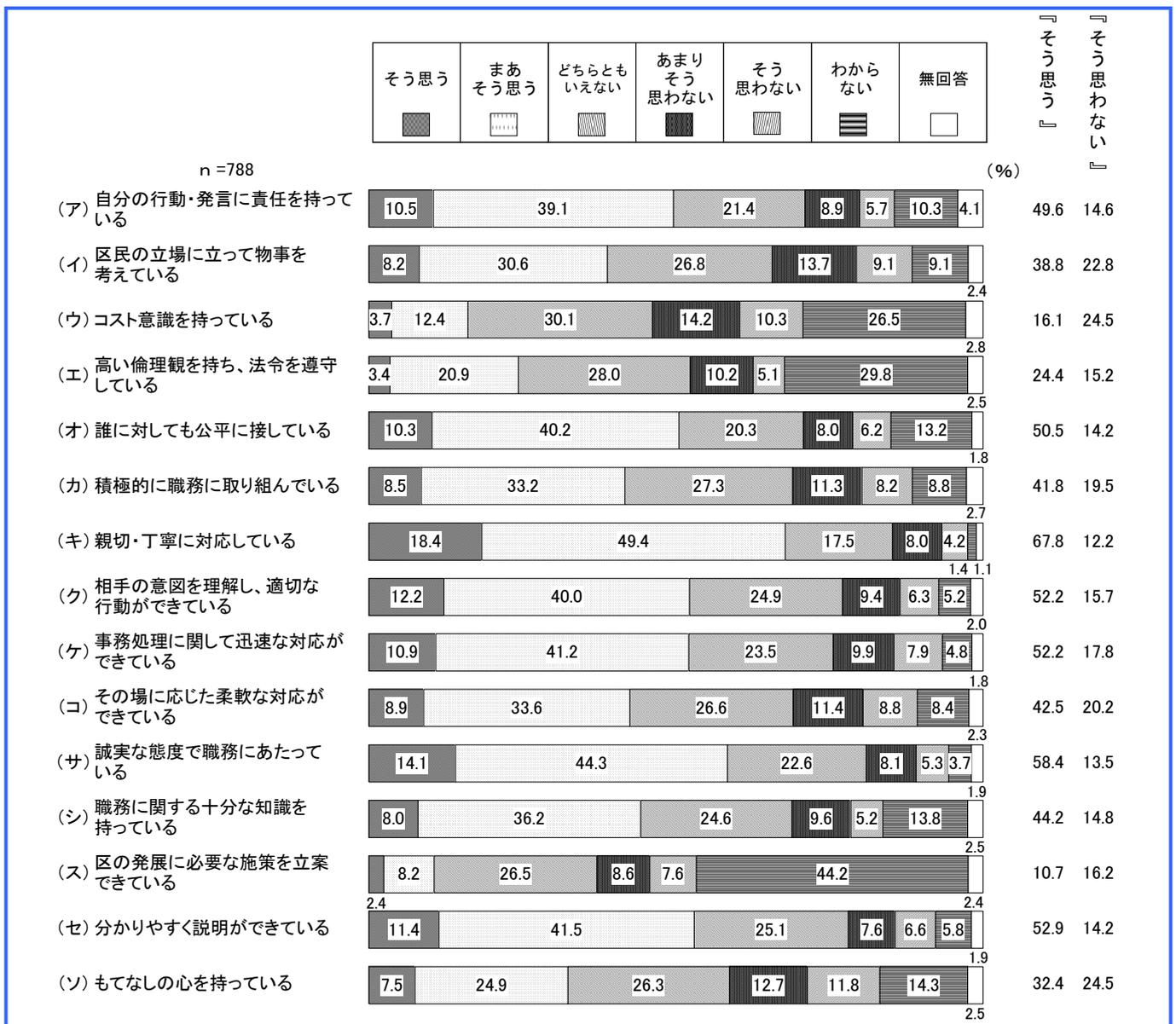
(1) 最近1年間の職員と接する機会の有無(問9)

「接する機会があった」(58.2%)が6割近く、「接する機会がなかった」(36.7%)は4割近くとなっています。



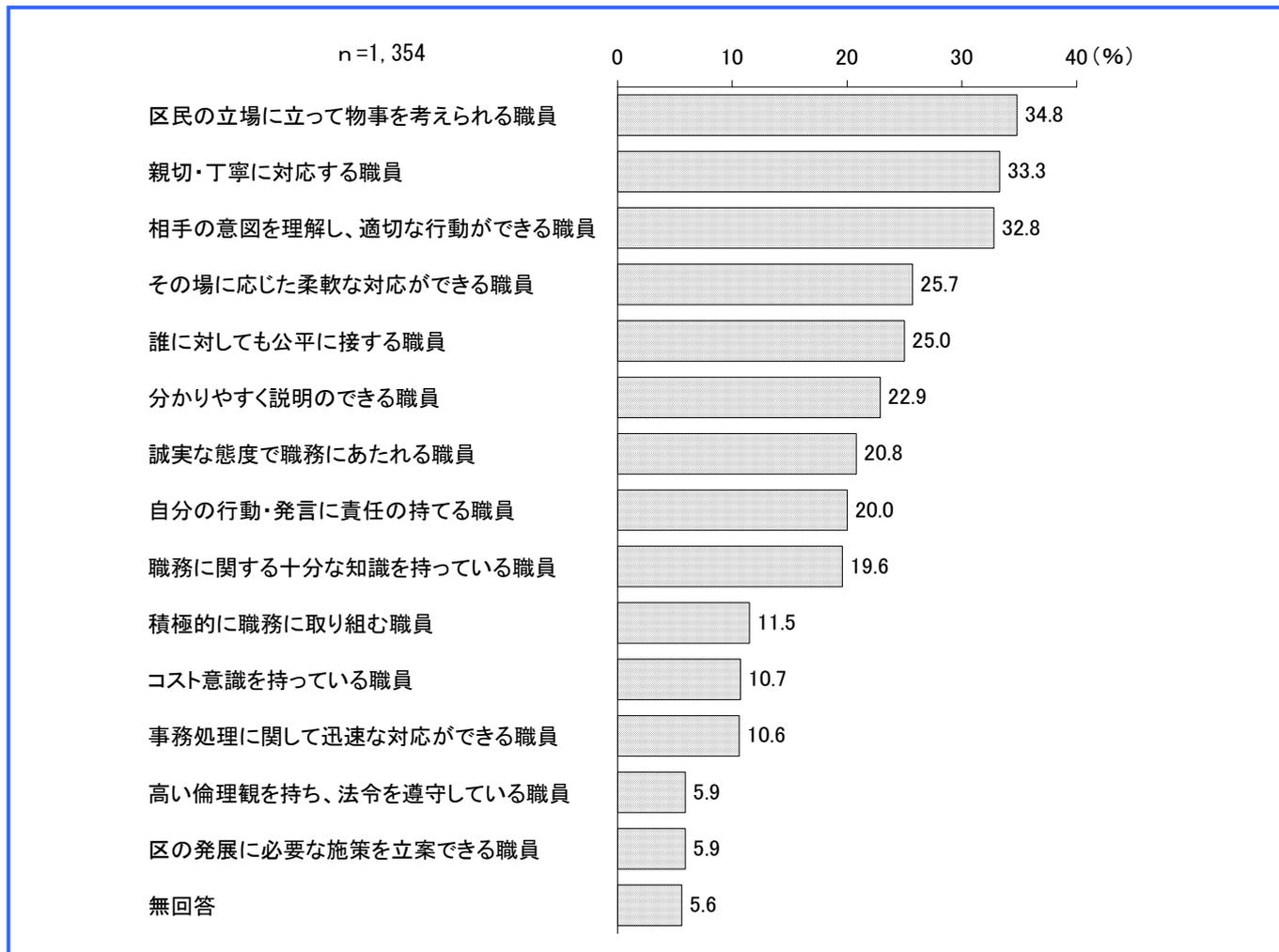
(2) 職員の能力・資質の現状評価(問9-1)

職員と「接する機会があった」と答えた人(788人)に、職員の能力・資質の現状評価を聞いたところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』では、「親切・丁寧に対応している」(67.8%)が7割近くと最も高く、次いで「誠実な態度で職務にあたっている」(58.4%)などとなっています。また、否定的な回答が肯定的な回答を上回ったのは、「コスト意識を持っている」と「区の発展に必要な施策を立案できている」の2つだけとなっています。



(3) 職員に求める姿 (問10)

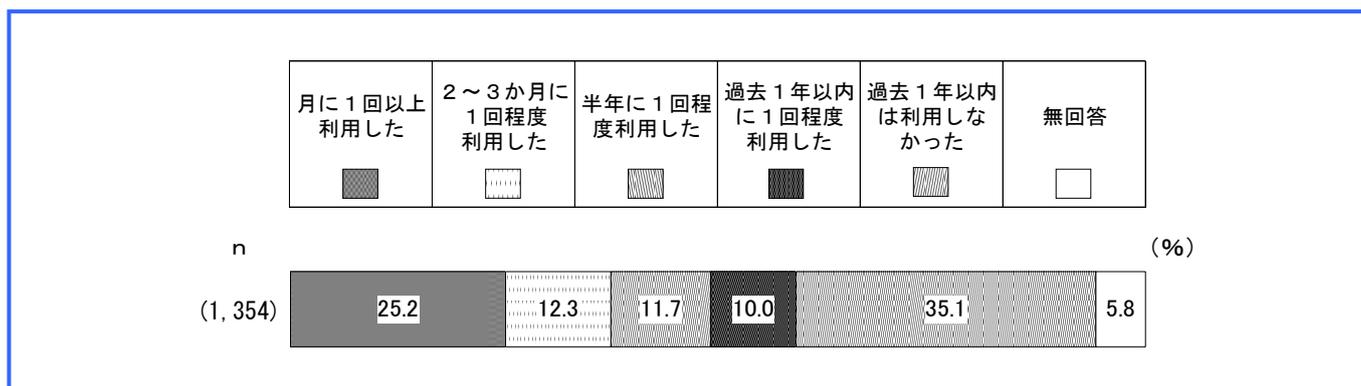
職員に求める姿を3つまで聞いたところ、「区民の立場に立って物事を考えられる職員」(34.8%)が3割半ばと最も高くなっています。次いで「親切・丁寧に対応する職員」(33.3%)、「相手の意図を理解し、適切な行動ができる職員」(32.8%)などとなっています。



6 板橋区の公共施設のあり方

(1) 公共施設の利用状況 (問11)

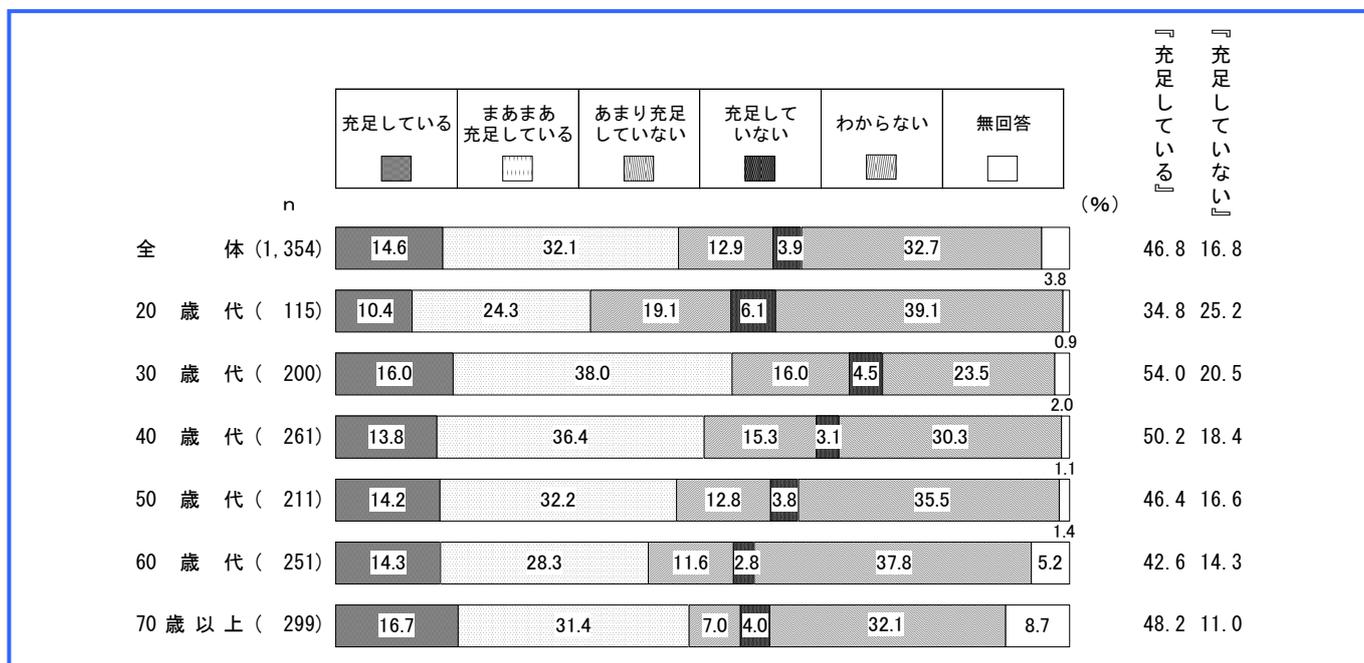
過去1年間の公共施設の利用状況を聞いたところ、利用した人の中では「月に1回以上利用した」(25.2%)が2割半ばと最も高く、「2～3か月に1回程度利用した」(12.3%)、「半年に1回程度利用した」(11.7%)、「過去1年以内に1回程度利用した」(10.0%)がいずれも1割台となっています。一方、「過去1年以内は利用しなかった」(35.1%)は3割半ばとなっています。



(2) 公共施設の量の充足 (問12)

「充足している」(14.6%)と「まあまあ充足している」(32.1%)を合わせた『充足している』(46.8%)が5割近くとなっています。一方、「あまり充足していない」(12.9%)と「充足していない」(3.9%)を合わせた『充足していない』(16.8%)は2割近くとなっています。

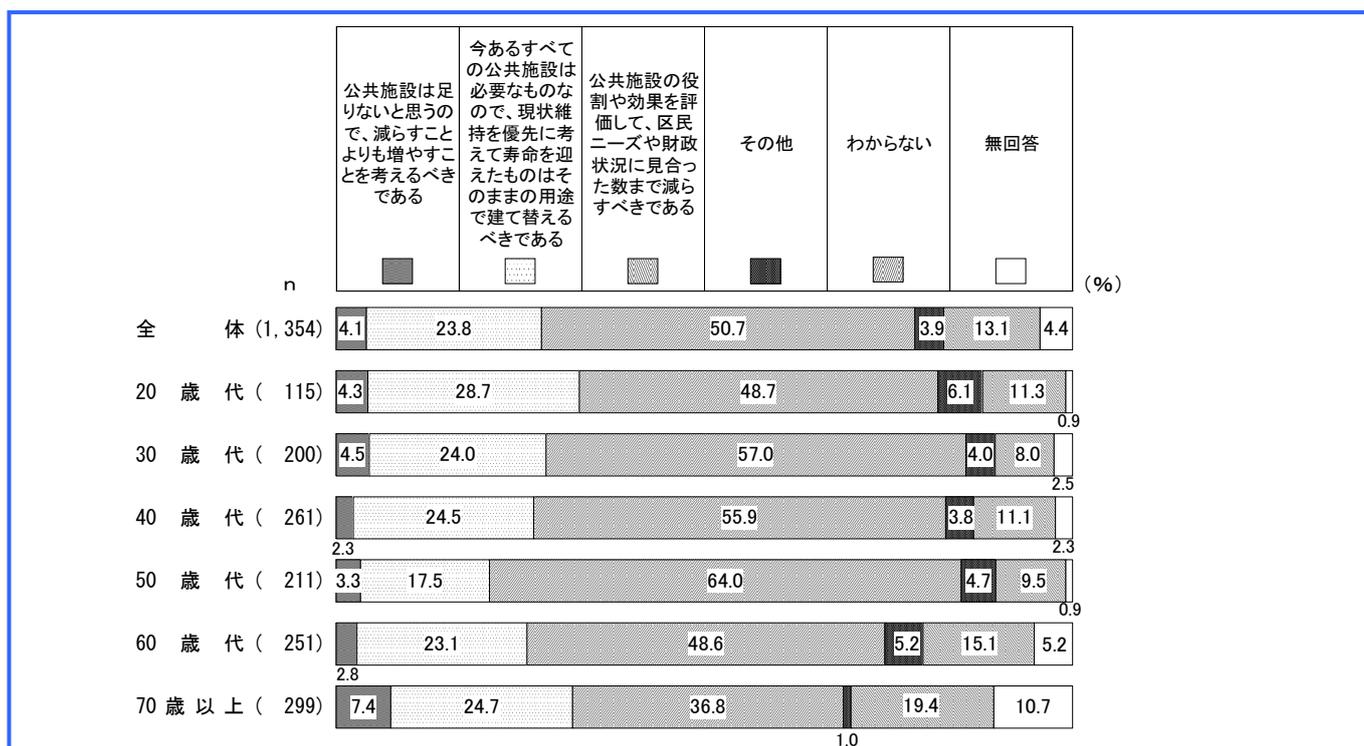
年代別でみると、『充足している』は30歳代(54.0%)と40歳代(50.2%)で5割台と高くなっています。



(3) 公共施設の総量の抑制 (問13)

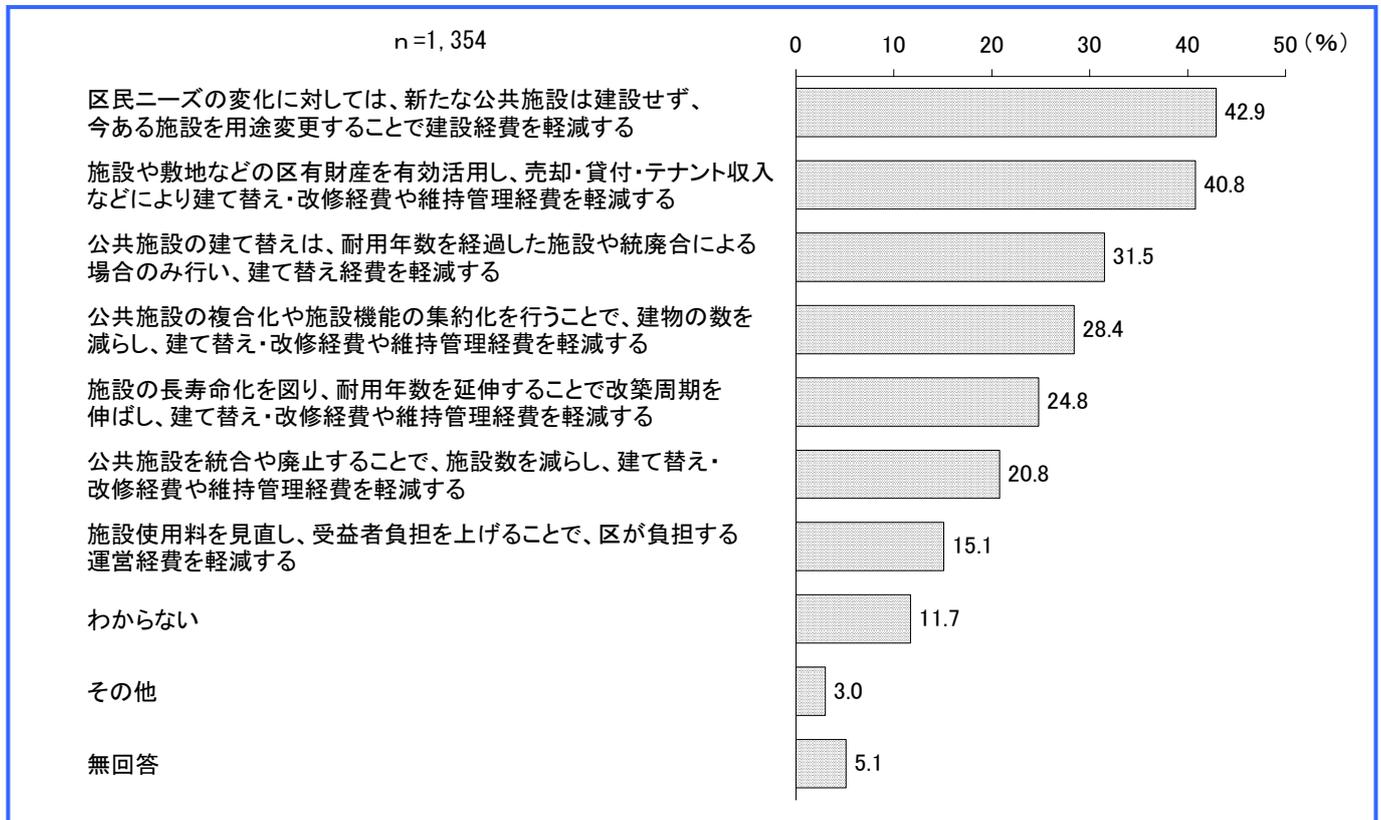
「公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである」(50.7%)が約5割と最も高く、「今あるすべての公共施設は必要なものなので、現状維持を優先に考えて寿命を迎えたものはそのままの用途で建て替えるべきである」(23.8%)が2割を超え、「公共施設は足りないと思うので、減らすことよりも増やすことを考えるべきである」(4.1%)はわずかとなっています。

年代別でみると、「公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである」は50歳代(64.0%)で6割半ばと高くなっています。



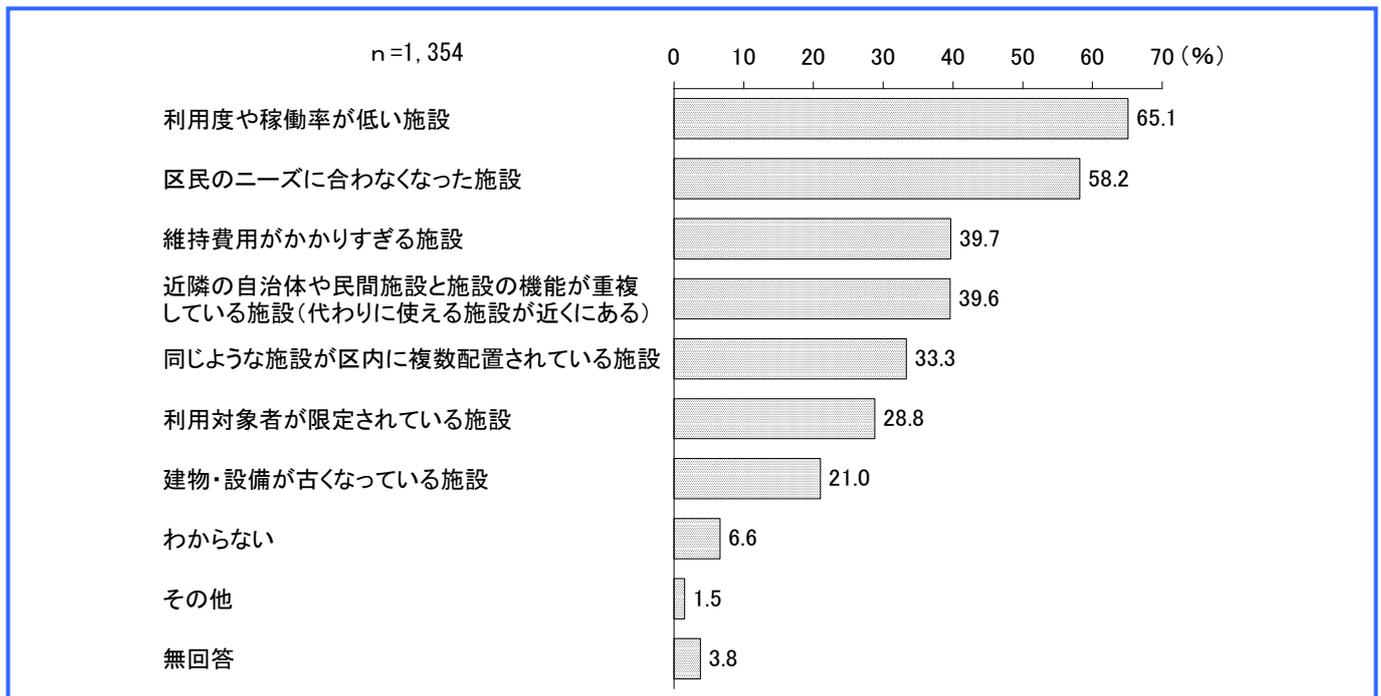
(4) 公共施設に対する今後の方策（問14）

適切と考えるものをすべて挙げてもらったところ、「区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する」（42.9%）が4割を超えて最も高く、次いで「施設や敷地などの区有財産を有効活用し、売却・貸付・テナント収入などにより建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」（40.8%）などとなっています。



(5) 公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設（問15）

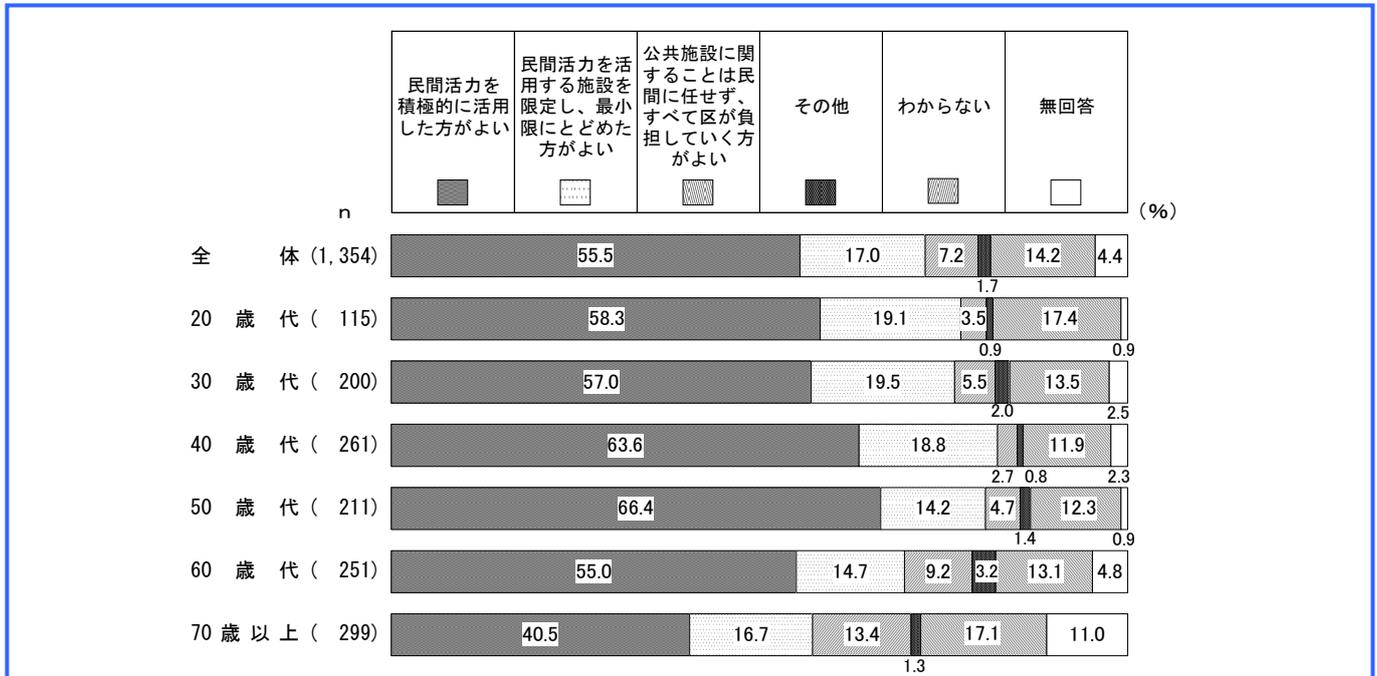
該当するものをすべて挙げてもらったところ、「利用度や稼働率が低い施設」（65.1%）が6割半ばと最も高く、次いで「区民のニーズに合わなくなった施設」（58.2%）、「維持費用がかかりすぎる施設」（39.7%）などとなっています。



(6) 民間活力を活用した整備や管理運営 (問16)

「民間活力を積極的に活用した方がよい」(55.5%)が5割半ばと最も高く、「民間活力を活用する施設を限定し、最小限にとどめた方がよい」(17.0%)が2割近く、「公共施設に関することは民間に任せず、すべて区が負担していく方がよい」(7.2%)は1割未満となっています。

年代別で見ると、「民間活力を積極的に活用した方がよい」は40歳代(63.6%)と50歳代(66.4%)で6割台と高くなっています。

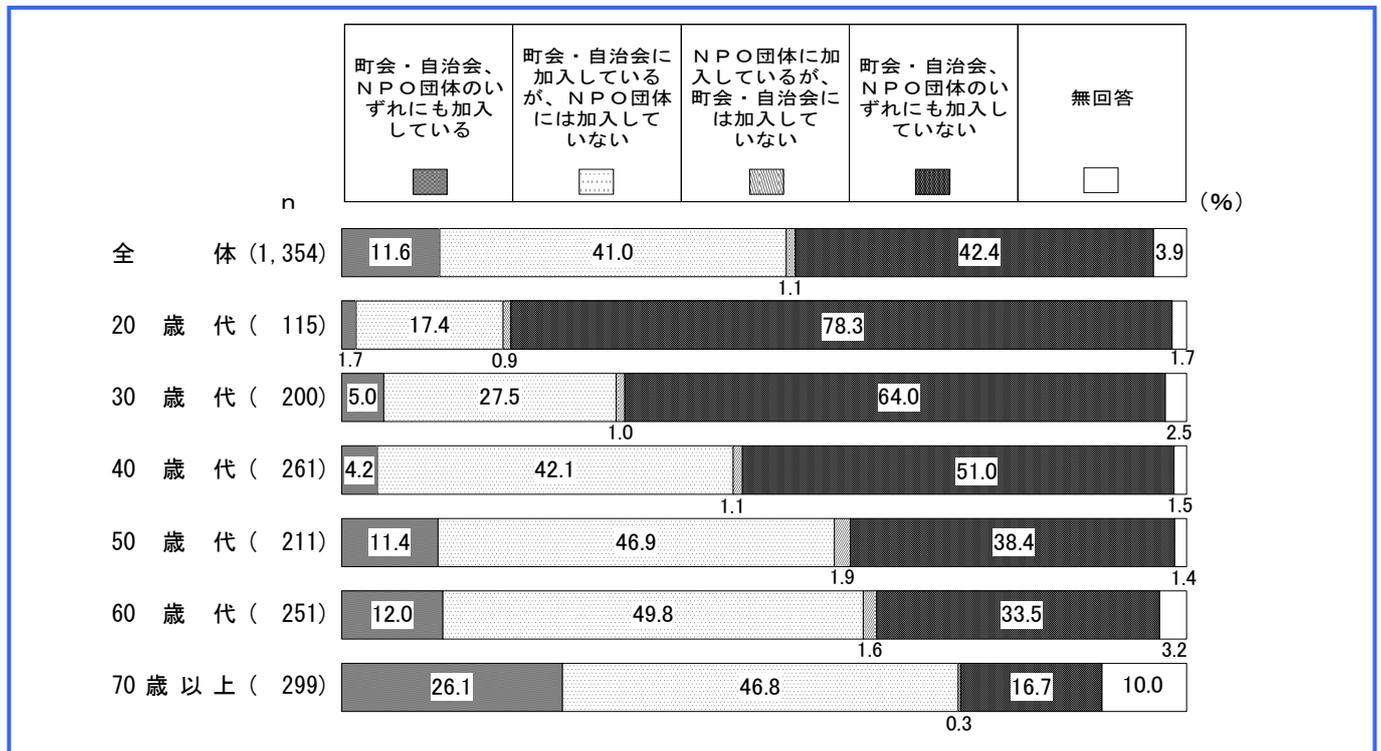


7 町会・自治会、NPO団体への加入状況等

(1) 町会・自治会、NPO団体への加入状況（問17）

「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」（41.0%）が4割を超えて高く、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入している」（11.6%）が1割を超え、「NPO団体に加入しているが、町会・自治会には加入していない」（1.1%）はわずかとなっています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」（42.4%）は4割を超えています。

年代別で見ると、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」は年齢が低くなるほど割合が高く、20歳代（78.3%）で8割近くとなっています。

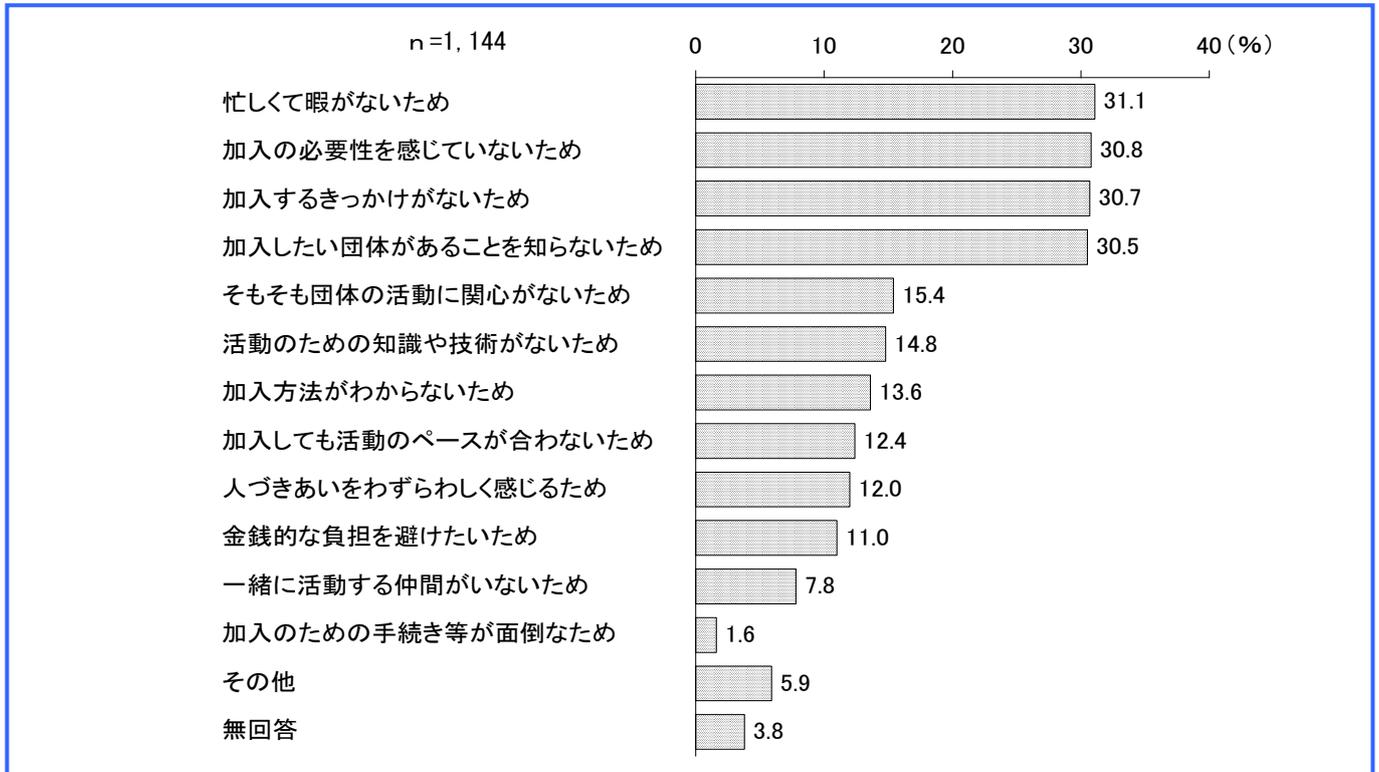


※町会・自治会：古くからの地縁による組織として、防犯、防火・防災、青少年健全育成、環境美化及び地域住民の親睦など、地域コミュニティの活性化や福祉の向上に区と協働して取り組んでいる団体

NPO団体：Non-Profit Organization（ノンプロフィット・オーガニゼーション）の略。継続的に社会貢献活動を行う非営利団体（ボランティア団体、市民活動団体、NPO法人）のこと。

(2) 加入していない理由 (問17-1)

町会・自治会、NPO団体のいずれか、または、いずれにも「加入していない」と答えた人(1140人)に、その理由を3つまで聞いたところ、「忙しくて暇がないため」(31.1%)が3割を超えて最も高くなっています。次いで「加入の必要性を感じていないため」(30.8%)、「加入するきっかけがないため」(30.7%)、「加入したい団体があることを知らないため」(30.5%)などとなっています。



(3) 地域の活動を活発にするために必要なこと (問18)

地域の活動を活発にするために必要なことを3つまで聞いたところ、「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」(44.9%)が4割半ばと最も高くなっています。次いで「気軽に参加できるイベントの開催」(44.2%)、「活動情報の積極的なPR」(40.6%)などとなっています。

